SONY®

# デジタルメディアプレーヤー

取扱説明書

**"ウォークマン"ケータイかんたんガイド**
詳しくはこちらへ ☞ 156ページ

NW-A865 / A866 / A867

# ⚠警告 安全のために （☞ 87 ～ 99ページもあわせてお読みください。）

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
**この「取扱説明書」と「詳細操作ガイド（パソコンで見る電子マニュアル）」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 安全のための注意事項を守る

この「取扱説明書」と「詳細操作ガイド（パソコンで見る電子マニュアル）」の注意事項をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、本製品全般の安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

## 定期的に点検する

1年に一度は、コネクターなどにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音･においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

↓

- パソコンと接続している場合は、USBケーブルまたはUSB端子を抜く。
- お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する。

### 警告表示の意味

取扱説明書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電･破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

#### 注意を促す記号

注意　火災　破裂　感電

#### 行為を禁止する記号

禁止　接触禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

#### 行為を指示する記号

指示

# マニュアルについて

紙で見る

**本書（取扱説明書）**

パソコンを使わずに“ウォークマン”を楽しむための情報を記載しています。

**準備編～パソコン側の準備**

パソコンを使って音楽を取り込み/転送するまでの一連の流れを記載しています。

**ポータブルMDやCD、ラジカセなどからの録音**

MD、CDプレーヤーなどから曲を取り込むまでの一連の流れを記載しています。

パソコンで見る

**詳細操作ガイド（☞ 155ページ）**

パソコンを使って“ウォークマン”を楽しむ情報も含めた詳細な情報や、困ったときの対処方法を記載しています。

**ウォークマン カスタマーサポートのホームページ**

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

**x-アプリヘルプ**

x-アプリの使いかたについて詳しく記載しています。

携帯電話で見る

**ケータイかんたんガイド（☞ 156ページ）**

外出先などで携帯電話から“ウォークマン”の操作方法を調べるのに最適です。

## パソコンを使わずに楽しむ

ポータブルMDやCD、ラジカセなどからの録音（パソコンを使わないお客様）

本書（取扱説明書）

## パソコンを使って楽しむ

準備編～パソコン側の準備（パソコンを使うお客様）

詳細操作ガイド

本書（取扱説明書）

x-アプリのヘルプ

## Bluetooth機能の説明を読む

本書（取扱説明書）

詳細操作ガイド

## インターネット接続ができる場合

サポートホームページ

# “ウォークマン”でできること

## 音楽／ビデオ／写真を楽しむ

パソコンを使うと、CDや音楽配信サイトから“ウォークマン”に音楽を転送することができます。また、別売りの録音用アクセサリーを使うと、パソコンを使わなくても曲を録音することができます。

**音楽**
音楽を取り込む／転送する（☞ 30ページ）
音楽を再生する（☞ 32ページ）

**ビデオ／写真**
ビデオ／写真を取り込む／転送する
（☞ 51ページ）
ビデオ／写真を再生する（☞ 52ページ）

## ＦＭラジオ放送を楽しむ

ＦＭラジオ放送を聞く（☞ 56ページ）

## ノイズキャンセリング機能を使う

周囲の騒音を低減させて聞く（☞ 61ページ）

## Bluetooth機能を使う

Bluetoothヘッドホンなどを利用したり、ファイル転送をすることができます。

Bluetooth機能を使う（☞ 66ページ）

## パソコンを使ってさらに楽しむ主な機能

詳細については、詳細操作ガイドで説明しています。☞ 155ページをご覧ください。

### 音楽の楽しみかたを広げる

"ウォークマン"とパソコンを接続してx-アプリなどを利用すると、以下のような楽しみかたができます。

**曲名／アルバム名／ジャケット写真／プレイリストなどを編集する**
**曲に歌詞データをつける**
楽曲の進行に合わせて歌詞を表示する「歌詞ピタ機能」を搭載しています。
歌詞データの取得にはインターネットへの接続が必要です。
**おまかせチャンネルで再生する**
曲解析を行って雰囲気や気分に合わせた再生を楽しむことができます。
**ちょい聴きmoraを使う**
インターネットの音楽配信サービスの「mora（モーラ）」からテーマごとに特集される曲をダウンロードして試聴することができます。

### ポッドキャストを楽しむ

"ウォークマン"をパソコンに接続してx-アプリなどを利用すると、"ウォークマン"にポッドキャストを転送して楽しむことができます。

# 目次

# 同梱品を確かめる

箱から出したら、同梱品がそろっているか確認してください。

□ “ウォークマン”本体（1）

□ ヘッドホン（1）

□ イヤーピース（Sサイズ、Mサイズ、Lサイズ）（各サイズ2個1組）
お買い上げ時はMサイズが装着されています。

□ USBケーブル（1）

□ オーバル型アタッチメント（1）
“ウォークマン”を別売りのクレードルなどに取り付けるときに使います。

□ 取扱説明書（本書）（1）

□ 準備編～パソコン側の準備（1）

□ ポータブルMDやCD、ラジカセなどからの録音（1）

□ 保証書（1）

□ ソニーご相談窓口のご案内（1）

□ 製品登録のお願い（1）

□ ソフトウェア

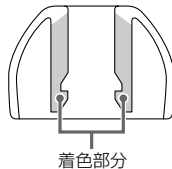
（“ウォークマン”本体メモリーに格納）

- x-アプリ
  音楽、ビデオ、写真、ポッドキャストの転送ができる体験型・統合アプリケーションです。
- WALKMAN Guide
  「詳細操作ガイド」や役立つリンク集が入っています。

# イヤーピースを装着する

イヤーピースが耳にフィットしていないと、適切なノイズキャンセル効果が得られない場合があります。快適なノイズキャンセル効果とより良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、同梱のLサイズやSサイズに交換してください。
内側の色でイヤーピースのサイズを確認してください。
イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。取り付けを確実にするためにイヤーピースを回転してください。

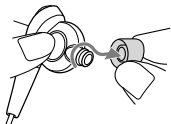
同梱以外にも、Sサイズより小さいSSサイズを別売りしています。

**イヤーピースのサイズ（内側の色）**

小さい ⟷ 大きい

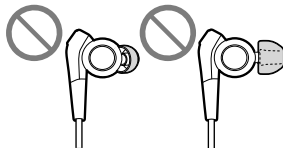
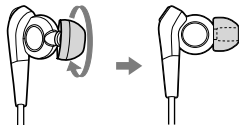
| SS（別売）（赤） | S（橙） | M（緑） | L（水色） |
|---|---|---|---|

**イヤーピースをはずすときは**

ヘッドホンを押さえた状態で、イヤーピースをねじりながら引き抜きます。

**ヒント**

- イヤーピースが滑ってはずれない場合は、乾いた柔らかい布でくるむとはずれやすくなります。

**イヤーピースをつけるときは**

ヘッドホンの突起部分が完全に隠れるまで、イヤーピースの着色部分をねじりながら押し込んでください。

イヤーピースが破損した場合には、別売りのイヤーピース（EP-EX10）をご購入ください。サイズごとに4種類の別売りイヤーピースがあります。

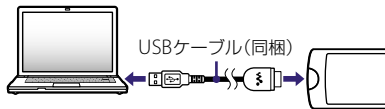
# パソコンにソフトウェアをインストールする

"ウォークマン"の本体メモリー内には、"ウォークマン"を使うために必要なソフトウェアやマニュアルなどが用意されています。別紙「準備編～パソコン側の準備」に沿ってインストールしてください。

インストールの前に、ソフトウェアの動作環境について確認してください。ソフトウェアの動作環境について詳しくは本書の「本製品の動作環境」(☞ 114ページ)を確認してください。また、OSやService Packの確認方法につきましては、ご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。

# 充電する

## パソコンで充電する

“ウォークマン”は起動しているパソコンと接続することで充電されます。
“ウォークマン”とパソコンの接続には、同梱のUSBケーブルを使います。

本体画面右上の電池残量表示が Full になったら、充電完了です(満充電までに必要な時間:約2時間)。はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が Full になるまで充電することをおすすめします。

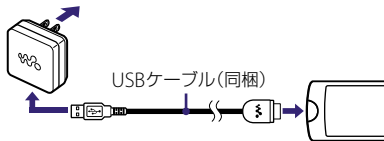
### ヒント

- 充電中は画面の輝度を落としています。

### ご注意

- 充電完了後、パソコンから“ウォークマン”に入力信号がない場合、“ウォークマン”の画面表示は消えます。

## パソコンを使わずに充電する

"ウォークマン"は別売りのACアダプター(AC-NWUM60など)や、対応スピーカーを接続することで充電できます。

充電の方法について、詳しくは別売りのACアダプターまたは対応スピーカーの取扱説明書をご覧ください。

## いたわり充電について

「いたわり充電」モードを使用すると、バッテリー充電量の約90%に達したところで充電を停止します。1回の充電での使用時間は10%短くなりますが、長時間の使用が必要なとき以外は「いたわり充電」を「オン」に設定しておけば、電池耐久寿命に影響する最大充電量を抑えることで、電池の耐久期間の長寿命化をはかれます。
設定方法は以下のとおりです。ホームメニューの使いかたは☞ 28ページをご覧ください。

**1** **ホームメニュー→ (各種設定)→「共通設定」→「いたわり充電」→「オン」を選ぶ。**

## 電池残量の表示について

ご使用中、情報表示エリアの電池残量表示でお知らせします。目盛りが少ないほど、電池残量が減っています。「電池残量がありません。充電してください。」と表示された場合は、"ウォークマン"を操作できません。このような場合は、"ウォークマン"を充電してください。電池の持続時間については、☞ 109ページをご覧ください。

# 日付と時刻を設定する

パソコンを使わない場合は、以下の手順に従って、手動で設定してください。ホームメニューの使いかたは☞ 28ページをご覧ください。

**1** **ホームメニュー →（各種設定）→「共通設定」→「時計設定」→「日付時刻設定」→「マニュアル設定」を選ぶ。**

**2** **数字をフリックまたはドラッグして、「年」、「月」、「日」、「時」、「分」の数字を選ぶ。**

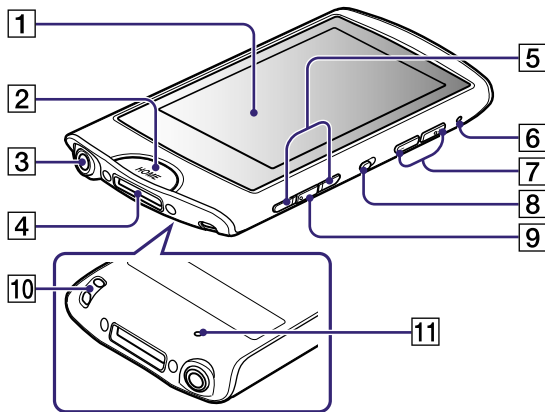
**3** **「OK」を選ぶ。**

### ヒント

- パソコンをお使いの場合は、お買い上げ時に“ウォークマン”をパソコンに接続しx-アプリを起動すると、日付と時刻が自動的に設定されます。

### ご注意

- “ウォークマン”の内蔵時計は1か月で最大60秒の誤差が生じる場合があります。パソコンをお使いの場合は、「対応ソフト･機器と同期」に設定しておけば、x-アプリと接続するたびに時刻が自動で修正されます。

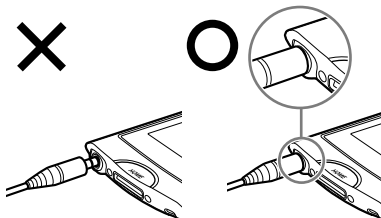
# 各部の名前

## 1 画面（タッチパネル）

画面（タッチパネル）上に表示されるアイコンや項目、操作ボタンなどを指で軽くタッチ（タップ）して、"ウォークマン"を操作できます（☞ 26ページ）。

## 2 HOME（ホーム）ボタン

ホームメニューを表示します（☞ 28ページ）。
押したまま（長押し）にすると、画面表示が消え再生待機状態になります。

## 3 ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。ヘッドホンが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。

### ノイズキャンセリング機能について

ノイズキャンセリング機能は同梱のヘッドホンを使用したときのみ有効です。なお、同梱のヘッドホンは専用ヘッドホンのため、他の機器には使用することができません。

## 4 WM-PORT（ダブリューエムポート）ジャック

同梱のUSBケーブルや、別売りのWM-PORT対応のアクセサリーを接続できます。
録音に対応したアクセサリー（別売）や、映像／音声出力ケーブル（別売）も接続できます。

### 5 ⏮/⏭ボタン

曲やビデオの頭出しや早送り／早戻しを行います。

### 6 Bluetooth（ブルートゥース）ランプ

Bluetooth接続の状態を表示します。

### 7 VOL（ボリューム）＋*1/－ボタン

音量を調節します。

*1 ボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

### 8 HOLD（ホールド）スイッチ

誤ってボタンやタッチパネルに触れたときに、動作するのを防ぎます。HOLDスイッチを矢印の方向➡にスライドするとHOLD(ホールド)状態になり、タッチパネル操作と本体のボタン操作を受けつけなくなります。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると解除されます(☞ 24ページ)。

### 9 ▶⏸ボタン*1

曲やビデオの再生や一時停止を行います。

*1 ボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

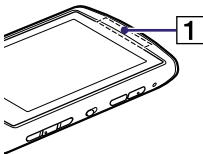
### 10 ストラップ取り付け口

ストラップ(別売)を取り付けます。

### 11 RESET（リセット）ボタン

クリップなどの細い棒でRESETボタンを押すと、"ウォークマン"をリセットできます(☞ 121ページ)。

## 内蔵アンテナについてのご注意

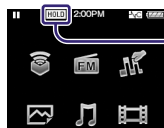
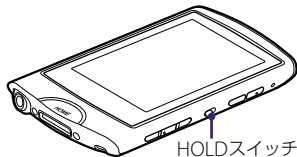
Bluetooth接続中は手などでおおわないようにしてください。Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。

1 内蔵アンテナ

# ホールドを解除する（HOLD）

ボタン操作をするときは、HOLDスイッチを矢印（➡）と反対の方向にスライドさせ、ホールド機能を解除します。

HOLDスイッチ

**ヒント**

- ホールド機能が働いているときにボタンを押したりタッチパネルに触れると、画面上部に HOLD が点滅します。

# 電源を入れる／切る

## 電源を入れる

"ウォークマン"のいずれかのボタンを押すと、"ウォークマン"の電源が入ります。

## 電源を切る

HOMEボタンを長押しすると、「POWER OFF」画面が表示されたあと、画面表示が消え再生待機状態になります。

### ヒント

- 接続処理中画面が表示された場合は、Bluetoothオーディオ機器と接続しようとしています。接続が完了するまでお待ちください。
- “ウォークマン”をお使いになる前に、“ウォークマン”の日付と時刻を合わせてください（☞ 20ページ）。
- “ウォークマン”は、一時停止中に一定時間操作がないと、自動的に再生待機状態になります。このときいずれかのボタンを押すと、画面が表示されます。
- 再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。その後電源を入れるときには、起動に少し時間がかかります。

### ご注意

- パソコンに接続中は“ウォークマン”を操作することはできません。“ウォークマン”をお使いのときは、USBケーブルをはずしてから操作してください。
- パソコンにUSBケーブルで接続したり、電源が切れると、前回再生していた曲やビデオのコンテンツや再生位置、写真などの再生の情報はクリアされます。リスト画面から希望のコンテンツを選び直してください。
- 再生待機状態でもわずかに電池を消耗します。

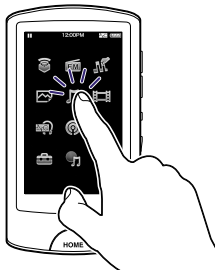
# タッチパネルの使いかた

画面(タッチパネル)を使って、“ウォークマン”を操作することができます。
画面上に表示されるアイコンや項目、操作ボタンなどをタップして、“ウォークマン”を操作できます。また、画面をドラッグしてリストをスクロールしたり、画面をフリックしてリストをすばやくスクロールしたり、サムネイル(一覧に表示するための小さな画像)をすばやく送ったりできます。

## タッチパネル操作についてのご注意

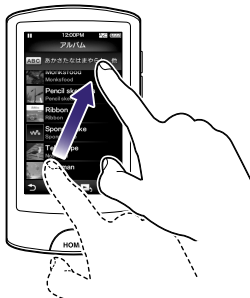
“ウォークマン”のタッチパネルは、次のような場合は正常に動作しません。

- 手袋をした指での操作
- 2本以上の指での操作
- 爪先での操作
- 濡れた指での操作
- ペン、ボールペン、鉛筆、スタイラスなどによる操作
- タッチパネルに指以外が触れたままでの操作

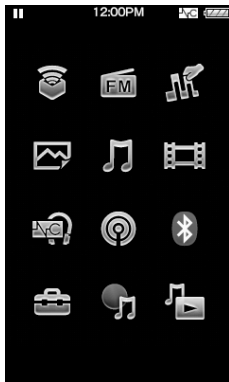
## タップして選択する

画面上に表示されるアイコンや項目、操作ボタンなどを、指で軽くタッチ(タップ)すると、選択することができます。

## ドラッグして画面をスクロールする

画面上に表示されるリストなどを指で上下にドラッグすると、リストが上下にスクロールします。また、タイムラインバーなどのインジケータ(再生位置など)を指でドラッグすると、インジケータがドラッグした位置へ移動します。

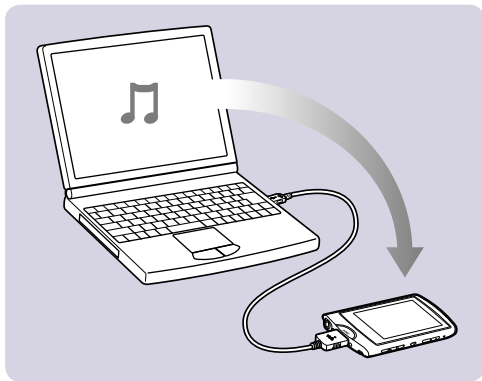
## フリックして画面をすばやく送る

指で画面を上下にはじく(フリックする)と、リストなどが上下にすばやくスクロールされます。また、音楽のアルバムスクロール画面や、ビデオのシーンスクロール画面などでは、画面上に表示されるジャケット写真やビデオのサムネイルを上下または左右にフリックすると、すばやく送ることができます。

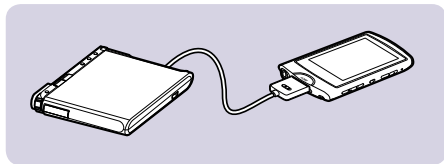
# ホームメニューの使いかた

“ウォークマン”では、各機能の入り口がホームメニューになります。ここから各機能を選んだり、曲を探したり、設定を変更することができます。

| | | |
|---|---|---|
| | おまかせチャンネル | （☞ 49ページ） |
| | FMラジオ | （☞ 56ページ） |
| | ちょい聴きmora | （☞ 49ページ） |
| | フォト | （☞ 52ページ） |
| | ミュージック | （☞ 32ページ） |
| | ビデオ | （☞ 52ページ） |
| | ノイズキャンセル | （☞ 61ページ） |
| | ポッドキャスト | （☞ 詳細操作ガイド） |
| | Bluetooth | （☞ 66ページ） |
| | 各種設定 | （☞ 詳細操作ガイド） |
| | 録音 | （☞ 別紙「ポータブルMDやCD、ラジカセなどからの録音」） |
| | 音楽再生画面へ | （☞ 詳細操作ガイド） |

# 音楽を取り込む

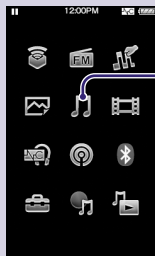
## パソコンを使って音楽を取り込む

パソコンを使って“ウォークマン”に音楽を取り込むには、x-アプリを使って取り込む方法と、ドラッグアンドドロップで取り込む方法があります。x-アプリを使うと、インターネットに接続して、CD情報(曲名やアーティスト名など)を自動取得できます。曲に歌詞情報を付けて転送することもできます。
x-アプリを使った取り込み方法について、詳しくは別紙「準備編～パソコン側の準備」、「詳細操作ガイド」またはx-アプリのヘルプをご覧ください。
ドラッグアンドドロップを使った取り込み方法について、詳しくは「詳細操作ガイド」をご覧ください。

## パソコンを使わずに音楽を取り込む

別売りの録音用アクセサリーを使って"ウォークマン"とオーディオ機器を接続すると、"ウォークマン"に直接、曲を録音することができます。
録音の方法について詳しくは別紙「ポータブルMDやCD、ラジカセなどからの録音」をご覧ください。録音元のオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- "ウォークマン"で録音した曲を削除した場合、曲を元に戻すことはできません。削除する前に充分に確認してください。

# 音楽を再生する

ホームメニューから🎵(ミュージック)を選ぶと、曲を再生できます。

**1** **ホームメニュー→🎵(ミュージック)を選ぶ。**

「ミュージック」画面が表示されます。

**2** **希望の検索方法→希望の曲を選ぶ。**

曲の再生が始まります。

⏮/⏭を選ぶと、前の曲や再生中の曲、次の曲の頭出しをします。
長押しすると、早戻しや早送りをします。
再生を一時停止するには、⏸を選びます。
一時停止中に、一定時間操作がないと自動的に再生待機状態になります。

**ヒント**

- パソコンを使わず、オーディオ機器から直接録音した曲は、「録音した曲」に表示されます。
- Bluetooth機能を使って受信した曲は、「受信した曲」に表示されます。
- 音楽再生画面で（サーチ）を選ぶと、リスト画面から希望の検索方法を選んで再生できます。検索方法は、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」、「ジャンル」、「リリース年」、「最近転送したアルバム」、「プレイリスト」、「ブックマーク」、「フォルダー」、「録音した曲」、「受信した曲」の中から選べます。詳しくは「詳細操作ガイド」をご覧ください。

# 曲を削除する

曲の取り込み方法によって、削除の方法が異なります。

## パソコンから転送した曲の場合

パソコンから転送した曲は"ウォークマン"では削除できません。削除の方法について詳しくは別紙「準備編～パソコン側の準備」をご覧ください。

## パソコンを使わず直接録音した曲の場合

**1 ホームメニュー→♫(ミュージック)→「録音した曲」→削除したい曲のあるフォルダーを選ぶ。**

フォルダーごと削除したい場合はフォルダーを選ばずに手順2へ進みます。

**2 (オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。**

**3 「曲を選択して削除」→削除したい曲を選ぶか、または「フォルダーを選択して削除」→削除したいフォルダーを選び、「はい」を選ぶ。**

ご注意

- フォルダー内の曲をすべて削除した場合、そのフォルダーは自動的に削除されます。該当フォルダー内にパソコンで必要なデータを置かないでください。
- 削除する曲が多い場合は、削除が完了するまでに時間がかかる場合があります。

## Bluetooth機能を使って受信した曲の場合

1 「受信した曲」の曲を再生する。

2 (オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。

3 「この曲を削除」→「はい」を選ぶ。

# ブックマークを使う

お気に入りの曲だけを再生したり、好きな曲順で曲を再生したりするときはブックマークを使います。

**1** **音楽再生画面で、(オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。**

**2** **「ブックマークに登録」➡希望のブックマークを選ぶ。**

**ヒント**

- 曲リスト画面で(オプションメニュー)➡「ブックマークに登録」➡希望の曲➡希望のブックマークを選んでも登録できます。
- 1つのブックマークにつき100曲まで登録できます。

**ご注意**

- "ウォークマン"で録音した曲はブックマークに登録できません。
- ブックマークの登録情報は、x-アプリには転送できません。

## ブックマークの曲順を変える

ブックマークの曲順を変えることができます。

1 ホーム メニュー → (ミュージック) →「ブックマーク」→ 希望のブックマークを選ぶ。

2 (オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。

3 「曲の並べ替え」を選ぶ。

4 移動したい曲を選ぶ。
選んだ曲の左横に双方向の矢印が表示されます。

5 / をタップして、移動先を選ぶ。

6 「OK」を選んで、移動先を決定する。

7 手順4から6を繰り返し、曲順を入れ替える。

8 入れ替えが終わったら、 (戻る)を選んで、元のリスト画面に戻る。

## ブックマークから曲を解除する

ブックマークから曲を解除できます。1曲ずつ、またはすべての曲を一度に解除できます。

### ブックマークから1曲を解除する

1 ホームメニュー→♫(ミュージック)→「ブックマーク」→希望のブックマーク→希望の曲を選ぶ。

2 ⊕☰(オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。

3 「ブックマークから解除」を選ぶ。

### ブックマークからすべての曲を解除する

1 ホームメニュー→♫(ミュージック)→「ブックマーク」を選ぶ。

2 ⊕☰(オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。

3 「ブックマークを全解除」→希望のブックマーク→「はい」を選ぶ。

# 曲を検索する

音楽再生画面やリスト画面で（サーチ）を選ぶと、希望の検索方法から曲を選べます。

**1　音楽再生画面またはリスト画面で（サーチ）→希望の検索方法の種類→希望の曲を選ぶ。**

### ヒント

- 検索方法には、「全曲」、「アルバム」、「アーティスト」、「ジャンル」、「リリース年」、「最近転送したアルバム」、「プレイリスト」、「ブックマーク」、「フォルダー」、「録音した曲」、「受信した曲」があります。パソコンから転送した曲など、曲の情報も一緒に転送されているものは、これらの方法で検索できます。
- パソコンを使わずオーディオ機器から直接録音した曲は、曲名などの情報がありません。「録音した曲」でフォルダー名や曲名の録音日時を手掛かりに曲を探してください。
- 「全曲」のリストには、“ウォークマン”で録音した曲は含まれません。
- 「アーティスト」のリストで、アーティスト名の頭文字が、「The（スペース）」、「ザ・」、「ジ・」の場合、これらの文字を省略して並び換えます。
- 「プレイリスト」はx-アプリで作成するプレイリストです。パソコンから転送した曲の場合、転送前にx-アプリでプレイリストを作成していると、「プレイリスト」で検索できます。プレイリストの作成については、x-アプリのヘルプをご覧ください。プレイリストに登録したジャケット写真は“ウォーク

マン”では表示されません。

- 「フォルダー」には、録音した曲、x-アプリで転送した曲およびBluetooth機能を用いて受信した曲は含まれません。
- 「録音した曲」のリストには、録音した曲以外は含まれません。
- 「受信した曲」のリストにはBluetooth機能を用いて受信した曲以外は含まれません。

# 語学学習機能を使う

設定を「語学学習」にすると、クイックリプレイ（3秒前に戻す）、A-Bリピート（区間リピート）、スピードコントロールなど、語学学習に適した機能を使うことができます。

**1 ホームメニュー➡ （各種設定）➡「音楽設定」➡「カラオケ・語学学習モード」➡「語学学習」を選ぶ。**

クイックリプレイ機能とA-Bリピート機能が使えるようになります。

## クイックリプレイをする

3秒前に戻って再生を始めます。聞き逃した部分を再度聞きたいときなどに使います。

**1 音楽再生画面で再生中または一時停止中に←●を選ぶ。**

### ヒント

- A点（A-Bリピートの開始点）が設定されているとき、A点から3秒以内の位置で←●を選ぶと、A点の位置に戻ります。

## A-Bリピート再生をする

再生中の音声の任意の区間を繰り返し再生できます。

**1 A-Bリピートを開始したい位置で▼　Aを選ぶ。**

A点(A-Bリピートの開始点)が表示されます。A点から曲の終わりまでの区間が繰り返し再生されます。

**2 A-Bリピートの終点に設定したい位置で▼　Bを選ぶ。**

B点(A-Bリピートの終点)が表示されます。A点からB点までの区間が繰り返し再生されます。

**ヒント**

- A-Bリピート中は、一時停止/再生再開、早送り、早戻し、クイックリプレイの操作を通常と同様に行えます。また、次の操作ができます。
  - A点に戻るには、⏮を選ぶ。
  - B点に進み、A-Bリピートを解除するには、⏭を選ぶ。
  - A-Bリピートを解除するには、A-B ⊗を選ぶ。

## 再生速度を調整する（DPC（スピードコントロール））

再生速度を0.5倍から2倍の間で調整できます。DPC（デジタル・ピッチ・コントロール）機能により、再生速度を変更しても自然な音程で再生することができます。

**1** **ホームメニュー→ （各種設定）→「音楽設定」→「DPC（スピードコントロール）」→希望の速度を選ぶ。**

**ヒント**

- 再生速度の設定はポッドキャストの音楽再生画面でも有効です。
- 再生速度を変更しても、歌詞を同期して表示することができます。

# 再生方法を変える（プレイモード）

曲を順不同に再生したり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

**1 ホームメニュー →（各種設定）→「音楽設定」→「プレイモード」→希望の設定の種類を選ぶ。**

選んだプレイモードで曲を再生することができます。

| 設定の種類（アイコン） | 説明 |
|---|---|
| ノーマル（表示なし） | 再生範囲の曲を順に再生します。 |
| リピート（） | 再生範囲の曲を順に繰り返し再生します。 |
| シャッフル（SHUF） | 再生範囲の曲を順不同に再生します。 |
| シャッフルリピート（ SHUF） | 再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生します。 |
| 1曲リピート（1） | 再生中または再生を始めた曲を繰り返し再生します。 |

# 再生範囲を変える

曲の再生範囲を設定できます。お買い上げ時の設定は「選択範囲内を再生」になっています。選択したアーティストやアルバム以外の曲を再生するには、「全範囲を再生」に設定を変更してください。

## 1 ホームメニュー → (各種設定)→「音楽設定」→「再生範囲設定」→希望の再生範囲の種類を選ぶ。

| 設定の種類(アイコン) | 説明 |
|---|---|
| 「全範囲を再生」<br>(表示なし) | ミュージックメニューで選択した項目以下の曲をすべて再生します。<br>ミュージックメニュー内のアルバムなどを順に再生したい場合はこちらを選択してください。 |
| 「選択範囲内を再生」( ) | 再生を始めた項目(アーティストやアルバム)内の曲のみを再生します。 |

ご注意

- 「再生範囲設定」で「全範囲を再生」と設定されていても、「ブックマーク」から曲を選んだときは、選んだブックマーク内の曲のみ再生されます。

# 音響効果を設定する

好みの音響効果を設定して曲を再生することができます。

**1** **ホームメニュー→（各種設定）→「音楽設定」を選ぶ。**

**2** **「イコライザ」、「VPT（サラウンド）」、「DSEE（高音域補完）」、「クリアステレオ」、「ダイナミックノーマライザ」の各設定項目を選ぶ。**

各設定項目については☞ 47 ～ 49ページをご覧ください。

**3** **希望の設定の種類を選ぶ。**

選んだ音響効果の設定で曲を再生することができます。

**ご注意**

- ビデオまたはFMラジオ、ポッドキャスト（ビデオのみ）、録音モニターや、外部入力の音声には、音響効果の設定は反映されません。

## イコライザ

曲のジャンルに合わせた音質が選べます。

| 設定の種類(アイコン) | 説明 |
|---|---|
| オフ(表示なし) | イコライザ機能を無効にし、通常の音で再生します。 |
| ヘビー(H) | 低域と高域を強調した迫力のある音質になります。 |
| ポップス(P) | 中域を強調したボーカルなどに適した音質になります。 |
| ジャズ(J) | メリハリのある低域と高域を強調した音質になります。 |
| ユニーク(U) | 小さな音でも比較的聞き取りやすいように低域と高域を強調した音質になります。 |
| カスタム 1(1) | 任意に設定した値になります。設定方法は「詳細操作ガイド」をご覧ください。 |
| カスタム 2(2) | |

## VPT（サラウンド）

「スタジオ」、「ライブ」、「クラブ」、「アリーナ」では、音楽を再生する空間をヘッドホンで擬似的に再現します。豊かな音場感が得られる「マトリックス」モードもあります。

| 設定の種類（アイコン） | 説明 |
|---|---|
| オフ（表示なし） | VPT機能を無効にし、通常の音で再生します。 |
| スタジオ（((S） | 録音スタジオで聞いているような音を再現します。 |
| ライブ（((L） | ライブハウスで聞いているような音を再現します。 |
| クラブ（((C） | クラブで聞いているような音を再現します。 |
| アリーナ（((A） | アリーナ会場で聞いているような音を再現します。 |
| マトリックス（((M） | 全方向から音が再現されるようなチューニングを加えたモードで、ナチュラルな再生音ながら豊かなサラウンド音場感が得られます。 |

## DSEE（高音域補完）

DSEE機能をオンにすることで、圧縮音源に対して高音質化処理を施し、さらに圧縮で取り除かれた高音域を補完することで、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音を再現します。

## クリアステレオ

クリアステレオ機能をオンにすることで、ヘッドホンの左右から出る音を、デジタル処理によりくっきりと区別して再生します。

### ダイナミックノーマライザ

ダイナミックノーマライザ機能をオンにすることで、曲同士の音量レベルの差が少なくなるように設定できます。この設定により、録音レベルの異なる複数のアルバムの曲をシャッフル再生するときでも、曲によって音量が大きすぎたり、小さすぎたりするのを避けることができます。

## その他の機能を楽しむ

“ウォークマン”ではさらに以下のような機能を楽しめます。機能についての詳細な説明は、詳細操作ガイドをご覧ください。

### おまかせチャンネル

曲調によって音楽がチャンネルに振り分けられ、チャンネル別に雰囲気や気分に合わせた再生を楽しむ機能です。

### ちょい聴きmora

x-アプリを使ってインターネットの音楽配信サービスの「mora(モーラ)」から、テーマごとに特集される試聴曲を“ウォークマン”にダウンロードしてお楽しみいただく機能です。

## カラオケ機能

曲のボーカル部分を抑え、キー(音程)を調整して再生するための機能です。

## 歌詞表示

曲に対応した歌詞を表示する機能です。x-アプリで歌詞ピタ(データ)をダウンロードした曲は“ウォークマン”に転送すると歌詞を表示できます。

## 音楽再生画面のテレビ出力

“ウォークマン”をテレビに接続し、歌詞やジャケット写真などを大きな画面で見たり、テレビのスピーカーから音楽を楽しむ機能です。

# ビデオ／写真を取り込む

## パソコンを使ってビデオ／写真を取り込む

パソコンを使って"ウォークマン"にビデオ／写真を取り込むには、x-アプリを使って取り込む方法と、ドラッグアンドドロップで取り込む方法があります。
x-アプリを使った取り込み方法について、詳しくは「詳細操作ガイド」またはx-アプリのヘルプをご覧ください。
ドラッグアンドドロップを使った取り込み方法について、詳しくは「詳細操作ガイド」をご覧ください。

## パソコンを使わずにビデオ／写真を取り込む

パソコンを使わなくても、ブルーレイディスクレコーダーなどから直接ビデオや写真を"ウォークマン"に転送することができます。転送方法について、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

# ビデオ／写真を再生する

“ウォークマン”に転送したビデオや写真は、ホームメニューから(ビデオ)、(フォト)を選んで再生します。

**1** **ホームメニュー→(ビデオ)、(フォト)のいずれかを選ぶ。**

## 2 希望のフォルダーから希望の項目➡希望のビデオ、写真を選ぶ。

再生が始まります。ビデオや写真の再生時は"ウォークマン"は横向き表示になります。

ビデオの再生中に◀◀/▶▶を選ぶと、早戻しや早送りができます。

再生を一時停止するには、❚❚を選びます。

一時停止中に、一定時間操作がないと自動的に再生待機状態になります。

写真は、画面を左右にドラッグまたはフリックすると、前や次の写真を表示できます。

### ヒント

- ビデオや写真再生画面で🔍(サーチ)を選ぶと、リスト画面から希望のビデオや写真を選んで再生できます。詳しくは「詳細操作ガイド」をご覧ください。

# ビデオ／写真を削除する

1 ビデオや写真を再生する。

2 (オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。

3 「このビデオを削除」または「この写真を削除」→「はい」を選ぶ。

**ヒント**

- ビデオや写真はリスト画面からでも削除ができます。リスト画面を表示中に(オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示し、「ビデオを選択して削除」または「写真を選択して削除」を選んでから、削除するビデオや写真を選びます。
- ビデオや写真は“ウォークマン”を使って削除する以外にパソコンと接続して削除することもできます。x-アプリで転送したものはx-アプリで、Windowsのエクスプローラーで転送したものはWindowsのエクスプローラーを使って削除してください。

# その他の機能を楽しむ

“ウォークマン”ではさらに以下のような機能を楽しめます。機能についての詳細な説明は、詳細操作ガイドをご覧ください。

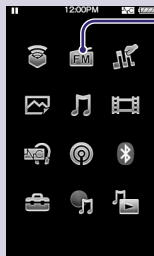
## ポッドキャストのエピソードの転送／再生／削除

インターネット上で配信されているポッドキャストの音声や動画を楽しむ機能です。

## ビデオ再生画面のテレビ出力

“ウォークマン”をテレビに接続し、“ウォークマン”のビデオの映像と音声をテレビで楽しむ機能です。

# FMラジオ放送を聞く

“ウォークマン”では、FMラジオ放送を楽しめます。接続したヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

**1** ホームメニュー→FM（FMラジオ）を選ぶ。

**2** 上下にドラッグまたはフリックして周波数を選ぶか、画面上の ＋/― でプリセット番号を選ぶ。

### ヒント

- 放送局がひとつもプリセット登録されていないときはプリセット番号で選曲できません。受信可能な放送局を「オートプリセット」機能で自動登録するか、または手動で登録してからお使いください。
- FMラジオを聞いているときは、「イコライザ」や「VPT(サラウンド)」、「DSEE(高音域補完)」、「クリアステレオ」、「ダイナミックノーマライザ」の設定は反映されません。
- Bluetooth接続中は、FMラジオを聞けません。Bluetooth機能を切断し、同梱のヘッドホンをつないでお聞きください。

# 自動で放送局を登録する(オートプリセット)

「オートプリセット」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセット登録できます(最大30局まで)。

**1** **FMラジオ画面で(オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。**

**2** **「オートプリセット」→「はい」を選ぶ。**
受信できる低い周波数の放送局から順番にプリセット登録されます。

**ヒント**

- 「オートプリセット」時の電波状態では受信感度が強いために、多くの不要な放送局を受信してしまうときは、スキャン感度の設定を「低」に設定してください(☞ 60ページ)。

**ご注意**

- 「オートプリセット」を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

## 手動で放送局を登録する

受信できる放送局を手動でプリセット登録できます（最大30局まで）。

**1** FMラジオ画面で登録したい周波数を選ぶ。

**2** ⊕☰（オプションメニュー）をタップしてオプションメニューを表示する。

**3** 「プリセットに登録」を選ぶ。

ご注意

- プリセット番号は、低い周波数から順番に振り直されます。

## 登録した放送局を解除する

**1** FMラジオ画面で登録を解除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。

**2** ⊕☰（オプションメニュー）をタップしてオプションメニューを表示する。

**3** 「プリセットを解除」を選ぶ。

# FMラジオの設定を変更する

## スキャン感度

受信感度が強すぎて、多くの不要な放送局を受信してしまう場合があります。このようなときは、スキャン感度を「低」に設定してください。

**1 ホームメニュー→（各種設定）→「FMラジオ設定」→「スキャン感度」→「低」または「高」を選ぶ。**

## モノラル/オート

FMラジオ放送を受信中に雑音が多いときは、「モノラル/オート」の設定を「モノラル」にしてください。「オート」に設定してある場合は、ステレオとモノラルは受信時の状態によって自動設定されます。

**1 ホームメニュー→（各種設定）→「FMラジオ設定」→「モノラル/オート」→「モノラル」または「オート」を選ぶ。**

# 周囲の騒音を低減させて聞く

“ウォークマン”のノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の騒音を低減することができます。同梱のヘッドホンを使っているときにのみノイズキャンセリング機能が働きます。

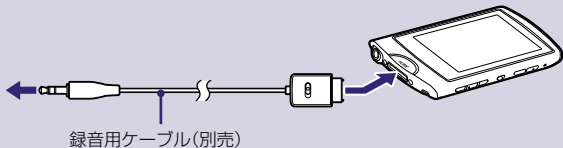
**1 同梱のヘッドホンを“ウォークマン”に接続し、ホームメニュー→ (ノイズキャンセル)→「ノイズキャンセルオン/オフ」→「オン」を選ぶ。**

情報表示エリアに が表示されます。

ご注意

- 同梱のヘッドホン以外を使っているときには「ノイズキャンセルオン/オフ」を「オン」にしても、ノイズキャンセリング機能は働きません。その場合、情報表示エリアには が表示されます。
- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、かすかにサーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセル効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、「ノイズキャンセルオン/オフ」を「オフ」にしてください。

## 外部入力の音声をノイズキャンセル効果を利用して聞く

飛行機内のオーディオ機器などの音声をノイズキャンセル効果を利用して聞くことができます。別売りの録音用ケーブル（WMC-NWR1）を使います。

1 同梱のヘッドホンを"ウォークマン"に接続し、ホームメニュー➡ (ノイズキャンセル)➡「ノイズキャンセルオン/オフ」➡「オン」を選ぶ。

2 別売りの録音用ケーブル(WMC-NWR1)を"ウォークマン"のWM-PORTジャックに接続し、オーディオ機器のヘッドホンジャックに接続する。

3 ホームメニュー➡ (ノイズキャンセル)➡「外部入力/サイレント」を選ぶ。
オーディオ機器からの音声にノイズキャンセル効果が適用されます。

## 音楽を再生しないで周囲の騒音を低減する

音楽やビデオなどを再生しないときでもノイズキャンセル効果を利用して、周囲の騒音を低減することができます。

1 同梱のヘッドホンを"ウォークマン"に接続し、ホームメニュー➡ (ノイズキャンセル)➡「ノイズキャンセルオン/オフ」➡「オン」を選ぶ。

2 ホームメニュー➡ (ノイズキャンセル)➡「外部入力/サイレント」を選ぶ。
周囲の騒音が低減されます。

**ヒント**

- WM-PORTジャックに録音用ケーブル（別売）からの音声入力がある場合は、「外部入力」となります。「外部入力」と「サイレント」は、画面上の「外部入力」または「サイレント」を選んで切り換えることができます。外部入力の状態で、接続している録音用ケーブル（別売）をはずした場合も、「外部入力」から「サイレント」に切り替わります。

# ノイズキャンセリング機能の設定を変更する

## 環境選択

周囲の騒音の種類を選択することで、それぞれの環境において最も効果的にノイズキャンセリング機能が適用されるように設定することができます。

**1 ホームメニュー →NC（ノイズキャンセル）→「環境選択」→希望の設定の種類を選ぶ。**

「室内」を選んだ場合、主にオフィス、勉強部屋などのOA機器や空調機器の騒音を効果的に低減します。

## ノイズキャンセル調整

“ウォークマン”は、ノイズキャンセル効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、耳の形状や使用環境によって、同梱のヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる(または下げる)ことでさらに効果が得られる場合があります。
ノイズキャンセル効果が得にくいと感じるときはノイズキャンセル調整でマイクの感度を調整してください。

**1 ホームメニュー →（ノイズキャンセル）→「ノイズキャンセル調整」を選ぶ。**

**2 スライダーをドラッグして希望の値を選び、「OK」を選んで決定する。**

31段階の値で調節できます。スライダーの中央の位置が標準的な環境で最も効果が得られる設定です。お好みで調整してください。

ご注意

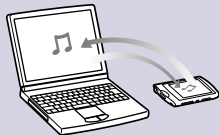
- マイクの感度を最大にすればノイズキャンセル効果がより得られるようになるわけではありません。

# Bluetooth機能とは

Bluetooth無線技術は、ヘッドホンやステレオミニコンポなどのデジタル機器同士で接続を行うための近距離無線技術です。約10 mまでの距離で接続を行うことができます。

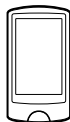
## 音楽を聞く

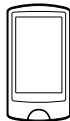
Bluetoothオーディオ機器を使ってワイヤレスで音楽を楽しめます（☞ 67ページ）。

## ファイルを送受信する

他のBluetooth機器とファイルのやりとりができます（☞ 72ページ）。

# Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く

Bluetoothオーディオ機器で“ウォークマン”の音声を聞くには、以下の手順に従ってください。

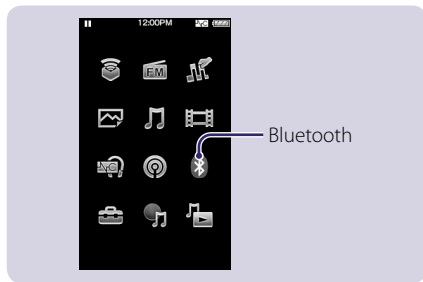
**1** **“ウォークマン”と相手側Bluetoothオーディオ機器をペアリングする（☞ 69ページ）。**

ペアリングをすると、
自動で接続（下記手順2）が
行われます。

**2** **“ウォークマン”と相手側Bluetoothオーディオ機器をBluetooth接続する（☞ 71ページの手順1 ～ 3）。**

## 3 “ウォークマン”の音声を再生する（☞ 71ページの手順4）。

“ウォークマン”はBluetoothプロファイル*としてA2DP（Advanced Audio Distribution Profile）とAVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）に対応しています。
接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。
AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどから“ウォークマン”の基本操作を行うことができます。

* Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

## 機器登録(ペアリング)する

Bluetoothオーディオ機器では、あらかじめワイヤレス接続する機器同士を登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

**1** 相手側のBluetoothオーディオ機器と"ウォークマン"を1 m以内に置く。

**2** 相手側のBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。

**3** ホームメニュー→ (Bluetooth)→「機器登録(ペアリング)」を選ぶ。

## 4 ペアリングする相手側のBluetoothオーディオ機器を選ぶ。

## 5 ペアリングが完了し、自動的にBluetooth接続されていることを確認する。

「接続処理が完了しました」と表示されます。"ウォークマン"で再生を始めると、相手側のBluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。(☞ 71ページ)

**ご注意**

- パスキー *の入力画面が表示されたら、相手側のBluetoothオーディオ機器のパスキーを確認し、入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。"ウォークマン"のパスキーは「0000」です。Bluetoothオーディオ機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

**ヒント**

- 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順1から行ってください。
- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレス(機器固有の英数字コード)を確認してください。BDアドレスの確認方法については、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

## 音楽を聞く

Bluetooth接続で音楽を再生します。ペアリングが済んだBluetoothオーディオ機器でも毎回Bluetooth接続が必要です。ペアリング直後はBluetooth接続された状態です。手順4で曲を再生します。

**1** **接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、接続待ち状態にする。**
詳しくは相手側のBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

**2** **ホームメニュー→(Bluetooth)→「オーディオ機器接続」を選ぶ。**

**3** **希望のBluetoothオーディオ機器を選ぶ。**
Bluetooth接続すると、接続した機器のアイコンにが表示されます。

**4** **"ウォークマン"で曲を再生する。**
曲を聞き終わったら、"ウォークマン"とBluetoothオーディオ機器の両方の電源を切ります。

## Bluetooth接続を切断する

**1** **ホームメニュー→(Bluetooth)→「オーディオ機器切断」を選ぶ。**

# ファイルを送る／受け取る

## ファイルを送る

“ウォークマン”内のファイルを、Bluetooth機能を使って他のBluetooth機器に送ることができます。

ご注意

- “ウォークマン”はBluetoothプロファイル*としてOPP（Object Push Profile）に対応しています。接続するBluetooth機器のプロファイルが、OPP（Object Push Profile）に対応している必要があります。
- お客様個人として楽しむなどのほか、他人の著作物を許可なくファイル転送することは、著作権法で禁止されています。

* Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

**1** **相手側のBluetooth機器をファイルの受信待機状態にする。**

**2** **“ウォークマン”の曲やビデオ、写真、ポッドキャストの再生画面で、（オプションメニュー）をタップしてオプションメニューを表示する。**

### 3 「ファイル送信」を選ぶ。

### 4 (オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示し、「接続機器の検索」を選ぶ。

周辺機器検索画面が表示されます。接続状態はBluetoothランプでも確認できます。

### 5 相手側のBluetooth機器を選ぶ。

この画面では、機種名の下にBDアドレスという英数字のコードが表示されます。このコードは機器固有のもので、受信側のBluetooth機器を特定できます。受信側機器のBDアドレスの確認方法は、受信側のBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

なお、受信側の機器に初めてファイルを送信する場合は、ペアリングが行なわれます。送信側、受信側ともに認証のための英数字が表示されることがありますので、その場合は双方の英数字が一致していることを確認してください。

Bluetooth接続処理の画面が表示され、ファイルの送信が始まります。

### 6 ファイルの送信が完了したことを確認する。

受信側のBluetooth機器で受信待機状態を終了します。

ご注意

- ペアリング中にパスキー *の入力画面が表示されたら、相手側のBluetooth機器のパスキーを確認し、入力してください。
- パスキー入力が完了しないなどの理由により、一定時間以内にペアリングが完了しなかった場合は、もう一度手順4の最初から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。“ウォークマン”のパスキーは「0000」です。Bluetooth機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- ファイルを送ったことがある機器を選ぶときは、手順4は不要です。

## ファイルを受け取る

他のBluetooth機器から送信されたファイルを受け取ることができます。

**1 ホームメニュー→ (Bluetooth)→「ファイル受信」を選ぶ。**

“ウォークマン”はファイル受信待機状態になります。

## 2 相手側のBluetooth機器から、“ウォークマン”にファイルを送る。

画面上、機種名の下にBDアドレスという英数字のコードが表示されます。このコードは機器固有のもので、送信側のBluetooth機器を特定できます。送信側機器のBDアドレスの確認方法は、送信側のBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
なお、送信側の機器から初めてファイルを受信する場合は、ペアリングが行なわれます。送信側、受信側ともに認証のための英数字が表示されることがありますので、その場合は双方の英数字が一致していることを確認してください。

## 3 ファイル受信後、「中止」を選ぶ。

“ウォークマン”のファイル受信待機状態が解除されます。

ご注意

- パスキー *の入力画面が表示されたら、相手側のBluetooth機器のパスキーを確認し、入力してください。
- パスキー入力が完了しないなどの理由により、一定時間以内にペアリングが完了しなかった場合は、もう一度、相手側のBluetooth機器をファイル送信待機状態にしてください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。“ウォークマン”のパスキーは「0000」です。Bluetooth機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

### ヒント

- 受信したファイルは「RECEIVED」フォルダーに格納されます。
  "ウォークマン"で再生できないファイルを受信した場合は、パソコンのエクスプローラーで「RECEIVED」フォルダーからファイルを探す必要があります。
- 同じ名前のファイルを受信したときは、ファイル名と拡張子の間に番号が付きます。
- ファイル受信待機状態の画面では、"ウォークマン"の機種名の下にBDアドレスが表示されます。BDアドレスはBluetooth機器固有のものです。送信側のBluetooth機器から"ウォークマン"を特定できます。
- "ウォークマン" が対応していないファイルを受信することはできますが、対応していないファイルは"ウォークマン"上で表示されなかったり、再生時にエラーとなります。

## 受信したファイルを再生／削除する

受信した曲、ビデオ、写真は、それぞれの機能から「受信した曲」、「受信したビデオ」、「受信した写真」を選択すると、再生や削除を行うことができます。

# Bluetoothランプ表示について

“ウォークマン”のBluetoothランプでBluetoothの機能や接続の状態がわかります。

| Bluetoothランプ | 状態 |
| --- | --- |
| 消灯<br>(--------------------) | • Bluetooth接続していません。 |
| はやく点滅<br>(○--○--○--○--○…) | • Bluetooth機器検索を取り消しています。<br>• ペアリングのための英数字を確認したり、パスキーを入力しています。<br>• 接続するBluetooth機器を確認しています。<br>• Bluetooth接続を待機しています。<br>• Bluetooth接続を切断しています。<br>• ファイルの送受信を取り消しています。<br>• ファイルの受信を待機しています。 |
| よりはやく点滅<br>(○○-○○-○○-○○…) | • Bluetooth機器を検索しています。<br>• ファイルを送受信しています。 |

| Bluetoothランプ | 状態 |
|---|---|
| ゆっくり点滅<br>(○-------○-----…) | • Bluetooth機器の検索が停止しています。<br>• 曲の再生が開始されるのを待っています。<br>• 曲の再生が停止しています。 |
| ゆっくり続けて2回点滅<br>(○○------○○-----…) | • Bluetooth接続で音声が再生されています。 |
| 2回点滅<br>(○-------○-----) | • Bluetooth接続が完了し、接続状態になっています。 |
| 1回点滅<br>(○-------------) | • Bluetooth接続が終了します。 |

# Bluetooth接続の使用上のご注意

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- “ウォークマン”にはアンテナが搭載されています。アンテナ部分の方向を接続したBluetoothオーディオ機器に向けることで、Bluetooth接続の感度が良くなります。“ウォークマン”とBluetoothオーディオ機器の間に障害物などがあった場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合は、Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。このような場合、音が途切れたりファイルの送受信に失敗することがありますが故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
  - 金属製のかばんの中で使う場合
  - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
  - 無線LANが構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など
- Bluetoothオーディオ機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - “ウォークマン”とBluetoothオーディオ機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10 m以上離れたところで行う。
  - “ウォークマン”とBluetoothオーディオ機器をできるだけ近づける。
  - 無線LANを搭載した機器から10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声に比べて、受信側のBluetoothオーディオ機器での再生がわずかに遅れます。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では"ウォークマン"およびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。
  病院内／電車内の優先席付近／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く
- "ウォークマン"は、Bluetooth技術を使用した接続時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した接続を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- "ウォークマン"はすべてのBluetoothオーディオ機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  - 接続するBluetoothオーディオ機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示·動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。

# アラーム機能を使う

設定した時刻に"ウォークマン"の再生を開始することができます。

**1** **ホームメニュー→ 🧰(各種設定)→「アラーム/スリープ設定」→「アラーム設定」を選ぶ。**

アラーム機能設定項目一覧が表示されます。

**2** **「アラームのオン/オフ」を選ぶ。**

アラーム設定を有効／無効にします。

**3** **「アラーム時刻設定」を選ぶ。**

アラーム開始時刻を設定します。

**4** **「繰り返し設定」を選ぶ。**

アラームの繰り返しのパターンを設定することができます。
オフにすると1度のみアラームが作動します。

**5** 「アラーム音設定」を選ぶ。

お好みの曲をアラームに使うことができます。アラームを止めるまで、アラーム音／曲が繰り返し再生されます。

| 設定の種類 | 説明 |
|---|---|
| 固定アラーム音 | "ウォークマン"にあらかじめ登録されたアラーム音を再生します。 |
| アラーム曲 | 設定した曲を再生します。設定については、「アラーム曲を選ぶ」をご覧ください。 |

## アラーム曲を選ぶ

**1** ホームメニュー→♫(ミュージック)→希望の検索方法→希望の曲を選ぶ。

**2** (オプションメニュー)をタップしてオプションメニューを表示する。

**3** 「この曲をアラームに使う」を選ぶ。

## アラームを止める

**1** アラーム作動中に、「アラーム停止」を選ぶ。

**ヒント**

- アラーム設定を「オン」にすると、情報表示エリアに ((●)) が表示されます。

**ご注意**

- 「日付時刻設定」が正しく設定されていないと、アラームを正確な時間に設定することはできません。アラームをお使いの前に、日付と時刻を正しく設定してください(☞ 20ページ)。
- 現在時刻は、1か月で最大60秒の誤差を生じる場合があります。アラームをお使いのときは、現在時刻に誤差がないか確認してください。
- アラームは60分後に自動的に止まります。
- ヘッドホンをお使いの場合は、「AVLS(音量制限)」の設定が「オン」または「オフ」にかかわらず、「AVLS(音量制限)」は「オン」でアラームは作動します。
- “ウォークマン”が次の動作中の場合、アラームは作動しません。
  - 曲を録音中(情報表示エリアにアラームアイコンが点滅しますが、音は出ません)
  - パソコンに接続中
  - Bluetoothの接続処理中(情報表示エリアにアラームアイコンが点滅しますが、音は出ません)

# スリープ機能を使う

設定時間が経過すると、再生が自動的に停止されます。

**1 ホームメニュー→ (各種設定)→「アラーム/スリープ設定」→「スリープタイマー設定」→希望の設定を選ぶ。**

### ヒント

- スリープタイマーを設定すると、情報表示エリアに が表示されます。

### ご注意

- “ウォークマン”が次の動作中の場合、スリープタイマーは作動しません。
  - 録音中
  - FMラジオの「オートプリセット」機能を使用中
  - おまかせチャンネルで曲を解析中
  - アラーム作動中
  - “ウォークマン”の電源をスリープタイマーの作動より先に切ったとき
  - “ウォークマン”をパソコンにUSB接続中
  - Bluetooth接続処理中
  - “ウォークマン”でファイルを削除中

# 電池持続時間について

“ウォークマン”の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、より長時間使用できます。設定変更の効果、お買い上げ時の設定、機能による電池持続時間の比較については、☞ 109ページをご覧ください。
ここでは、電池を長持ちさせる方法をご紹介します。

## 手動で電源を切る

HOMEボタンを長押しすると、画面表示が消えて再生待機状態になり、電池の消耗を抑えることができます。
再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れ、さらに消費電力を抑えることができます。

## 設定を変える

以下のように設定を変更することで、電池持続時間を長くできます。

- 音楽再生中の画面表示をなるべく出さない設定にする。
  - 「画面オフタイマー」で「15秒」（もっとも速い設定）に設定する。
  - 「歌詞表示」を選び、「オン（再生画面常時表示）」以外に設定する。
  - 「カラオケ・語学学習モード」を選び、「カラオケ（効果強）」または「カラオケ（効果弱）」以外に設定する。

- 「輝度設定」の設定値を低くする。
- 「イコライザ」、「VPT(サラウンド)」、「DSEE(高音域補完)」、「クリアステレオ」、「ダイナミックノーマライザ」を「オフ」にする。

## Bluetooth接続を切断する

Bluetooth機能は無線によるデータ送信技術のため、電池の消耗が多くなります。
Bluetooth機能を使用しないときは、忘れずにBluetooth接続を切断したり、Bluetoothヘッドホンを使わず、同梱のヘッドホンを使用すれば、電池持続時間を長くすることができます。

## ノイズキャンセリング機能をこまめにオフにする

ノイズキャンセリング機能をオンにしていると、電池の消耗が多くなります。
曲を聞いていないときなどは、こまめにノイズキャンセリング機能をオフにすることで、電池持続時間を長くすることができます。

## データのファイル形式やビットレートを変える

曲やビデオ、写真のフォーマットやビットレートによっても、電池の持続時間（連続再生時間）が変わります。充電時間や使用時間は☞ 108、109ページをご覧ください。

# 安全のために

危険

**下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。**

**火の中に入れない。**

**分解しない。**

感電の原因になります。修理などはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

**火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。**

**本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。**

本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

## 充電式電池が液漏れしたときは

### 充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本製品本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

**⚠警告**

**下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。**

### 運転中は使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。

### 周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工場現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

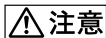
### 内部に水や異物を入れない。

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

## ⚠警告　下記の注意事項を守らないとけがをしたり事故の原因となります。

### 乳幼児の手の届かないところに置く。

スタンドチップやイヤーピースは飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。

## ⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

### はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音がでて、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

### 本製品を布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

### 肌に合わないと感じたときは使わない。

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

### 使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本製品の使用を中止してください。

**本製品を航空機内で使う場合は、機内のアナウンスに従う。**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**本製品を医療機器の近くで使わない。**

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

**本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。**

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

**本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない。**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**本製品は、国内専用です。**

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

**本製品に強い衝撃を与えない。**

本製品の画面表示部には強い衝撃や過度の力を与えないでください。割れが発生するおそれがありますのでお取り扱いには十分注意してください。モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。
欠けや割れが発生すると怪我の原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。

# 使用上のご注意

## 無線の周波数について

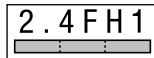
本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

## 本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1）本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2）万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3）不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

## 充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーの相談窓口へお問い合わせください（☞ 最終ページ）。

## 本製品の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本製品の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)
  - ホコリの多いところ
  - ぐらついた台の上や傾いたところ
  - 振動の多いところ
  - 風呂場など、湿気の多いところ
  - 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本製品の電源を切って、本製品をラジオやテレビから離してください。
- 同梱のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(☞ 最終ページ)に相談してください。
- 本製品をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本製品をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
  - 本製品にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

- 水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポケットに入れての使用
    身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。
- ヘッドホンを本製品からはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- イヤーピースは長期の使用／保存により劣化する恐れがあります。
- ヘッドホンを付けたまま寝ないでください。寝ているあいだにヘッドホンのコードが首にからまり、窒息の原因となることがあります。

## ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ(別売)を付けてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。
- 本製品を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたば

かりの部屋などで、本製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

- 本製品をUSB接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本製品が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本製品を取りはずしてから行ってください。
- x-アプリの使用中(CD録音中、曲の取り込み中、本製品への転送処理中)にパソコンがスリープ／スタンバイ／休止状態へ移行すると、データが失われたり、x-アプリが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

## 静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これは本製品の故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

## 液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。

# 本製品を廃棄するときのご注意

本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

（「ソニーの相談窓口」の連絡先は☞最終ページに記載されています。）

# お手入れ

### 本製品の表面の汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

### ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

### イヤーピースのお手入れについて

ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

## 同梱のソフトウェアについてのご注意

- 権利者の許諾を得ることなく、同梱のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 同梱のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 同梱のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 同梱のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本製品に同梱していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 同梱のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。
- 本製品のメモリーを初期化すると、本製品に転送した曲、ビデオ、写真のデータだけでなく、お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータおよびソフトウェアのすべてが消去されます。メモリー初期化を行う前に内容を確認し、必要なデータはパソコンに保存してください。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽(歌詞ピタ(データ)含む)、ビデオ、写真データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本製品上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - コンテンツやファイルの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

# 主な仕様

## 再生できるファイルの種類

| ミュージック（ポッドキャストを含む） | | |
|---|---|---|
| 音声圧縮形式（コーデック） | MP3 | ビットレート：32 ～ 320 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）<br>サンプリング周波数*1：32、44.1、48 kHz |
| | WMA*2 | ビットレート：32 ～ 192 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）<br>サンプリング周波数*1：44.1 kHz |
| | ATRAC | ビットレート：48 ～ 352 kbps（66*3、105*3、132 kbpsはATRAC3）<br>サンプリング周波数*1：44.1 kHz |
| | ATRAC Advanced Lossless*4 | ビットレート：64 ～ 352 kbps（132 kbpsはATRAC3 base layer）<br>サンプリング周波数*1：44.1 kHz |
| | リニアPCM | ビットレート：1,411 kbps<br>サンプリング周波数*1：44.1 kHz |
| | AAC*2 | ビットレート：16 ～ 320 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）*5<br>サンプリング周波数*1：8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz |
| | HE-AAC | ビットレート：32 ～ 144 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）<br>サンプリング周波数*1：24 kHz |

| ビデオ(ポッドキャストを含む) | | |
|---|---|---|
| ビデオ圧縮形式(コーデック) | AVC(H.264/AVC) | ファイルフォーマット:MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット<br>拡張子:.mp4、.m4v<br>プロファイル:Baseline Profile<br>レベル:1.2、1.3、2、2.1、2.2、3<br>ビットレート:最大10 Mbps<br>フレーム数:最大30 fps<br>解像度:最大 720×480*6 |
| | MPEG-4 | ファイルフォーマット:MP4ファイルフォーマット、メモリースティックビデオフォーマット<br>拡張子:.mp4、.m4v<br>プロファイル:Simple Profile<br>ビットレート:最大6 Mbps<br>フレーム数:最大30 fps<br>解像度:最大 720×480*6 |
| | Windows Media Video 9 | ファイルフォーマット:ASFファイルフォーマット<br>拡張子:.wmv<br>ビットレート:最大6 Mbps<br>フレーム数:最大30 fps<br>解像度:最大 720×480*6 |

| | | |
|---|---|---|
| 音声圧縮形式（コーデック） | AAC-LC（AVC、MPEG-4用） | チャンネル数：最大2 チャンネル<br>サンプリング周波数：24、32、44.1、48 kHz<br>ビットレート：1チャンネルあたり最大 288 kbps |
| | WMA（Windows Media Video 9用） | ビットレート：32 ～ 192 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）<br>サンプリング周波数*[1]：44.1 kHz |
| ファイルサイズ | 最大4 GB | |
| ファイル数 | 最大2,000ファイル | |
| **フォト**[*7] | | |
| フォト圧縮形式（コーデック） | JPEG | DCF 2.0/Exif 2.21のファイルフォーマットに準拠<br>拡張子: .jpg<br>JPEG（Baseline）<br>画素数:最大 4,096×4,096 ピクセル（1,600万画素） |
| ファイル数 | 最大20,000ファイル<br>1フォルダーあたり最大1,000ファイル | |

*[1] すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

*[2] 著作権保護されたファイルは再生できません。

*[3] x-アプリでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。

*[4] ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器･メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。

*[5] サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含みます。

*[6] 再生可能な解像度を示すものであって、本製品で表示できるピクセル数を示すものではありません。本体ディスプレイでは400×240で表示されます。

*[7] データの種類によっては表示できないものがあります。

## 記録できる最大曲数と時間の目安

1曲4分のATRAC形式*[1]およびMP3形式の曲だけを転送／録音した場合で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

*[1] ATRAC Advanced Losslessは除きます。ATRAC Advanced Losslessは楽曲により圧縮率が異なります。例えば、CD1枚（4分の曲が15曲入っていた場合）が約200 MB ～ 500 MBになります。

### 最大記録曲数

| | NW-A865 | NW-A866 | NW-A867 |
|---|---|---|---|
| | 16 GB | 32 GB | 64 GB |
| 48 kbps | 10,000曲 | 20,500曲 | 41,500曲 |
| 64 kbps | 7,800曲 | 15,500曲 | 31,000曲 |
| 128 kbps | 3,950曲 | 8,000曲 | 16,000曲 |
| 256 kbps | 2,000曲 | 4,000曲 | 8,000曲 |
| 320 kbps | 1,550曲 | 3,200曲 | 6,400曲 |
| 1,411 kbps（リニアPCM） | 360曲 | 735曲 | 1,450曲 |

### 最大記録時間

| | NW-A865 | NW-A866 | NW-A867 |
|---|---|---|---|
| | 16 GB | 32 GB | 64 GB |
| 48 kbps | 約666時間40分 | 約1,366時間40分 | 約2,766時間40分 |
| 64 kbps | 約520時間00分 | 約1,033時間20分 | 約2,066時間40分 |
| 128 kbps | 約263時間20分 | 約533時間20分 | 約1,066時間40分 |
| 256 kbps | 約133時間20分 | 約266時間40分 | 約533時間20分 |
| 320 kbps | 約103時間20分 | 約213時間20分 | 約426時間40分 |
| 1,411 kbps（リニアPCM） | 約24時間00分 | 約49時間00分 | 約96時間40分 |

## 記録できるビデオファイルの最大時間の目安

本製品にビデオのみを転送した場合で計算しています。使用状況によっては増減する可能性があります。

| | NW-A865 | NW-A866 | NW-A867 |
|---|---|---|---|
| | 16 GB | 32 GB | 64 GB |
| 映像:384 kbps<br>音声:128 kbps | 約60時間20分 | 約122時間20分 | 約243時間20分 |
| 映像:768 kbps<br>音声:128 kbps | 約34時間20分 | 約69時間40分 | 約139時間00分 |

## 記録できる最大フォト枚数

記録できる最大フォト枚数：20,000枚
ファイルサイズによっては記録できる最大フォト枚数が少なくなります。

## 録音できる最大曲数、最大フォルダー数、1つのフォルダーに録音できる最大曲数

録音できる最大曲数: 4,000曲
最大フォルダー数: 255個
1つのフォルダーに録音できる最大曲数: 255曲

## 転送できる最大プレイリスト数、各プレイリストに登録できる最大曲数

転送できる最大プレイリスト数: 8,192
各プレイリストに登録できる最大曲数: 999曲

## 容量（ユーザー使用可能領域）*1

NW-A865：16 GB
（約14.4 GB = 15,464,038,400バイト）
NW-A866：32 GB
（約29.0 GB = 31,222,235,136バイト）
NW-A867：64 GB
（約57.8 GB = 62,072,389,632バイト）

*1 本製品では、メモリーの一部をデータ管理領域として使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示とは異なります。

## ヘッドホン出力

周波数特性
20 ～ 20,000 Hz（44.1 kHzサンプリング時、単信号測定）

## ノイズキャンセリング機能

デジタルノイズキャンセリング機能対応
環境選択:電車・バス/航空機/室内
入力切替(ノーマルモード/外部入力モード/サイレントモード)

## 総騒音抑制量(TNSR)*[1]

17 dB

*[1] 当社規定の航空機シミュレートノイズ下における、「環境選択」を「航空機」に設定時とヘッドホン非装着時との比較による値。総騒音抑制量(当社測定法による)約17 dBは音のエネルギーで約98.0%の騒音低減に相当。

# FM

- ラジオ放送受信周波数:76.0 ~ 108.0MHz
- IF:128kHz
- アンテナ:ヘッドホンコードアンテナ

# Bluetooth

- 通信方式:Bluetooth標準規格 Ver 2.1+EDR*[1]
- 出力:Bluetooth標準規格 Power Class 2
- 最大通信距離:見通し距離 約10m*[2]
- 使用周波数帯域:2.4 GHz帯(2.4000 GHz - 2.4835 GHz)
- 変調方式:FHSS
- 対応Bluetoothプロファイル*[3]
  - A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
  - AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)
  - OPP(Object Push Profile)
- 対応コーデック*[4]:SBC*[5]

*[1] Enhanced Data Rateの略
*[2] 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*[3] Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*[4] 音声圧縮変換方式のこと
*[5] Subband Codecの略

## インターフェース

ヘッドホン：ステレオミニ
WM-PORT（マルチ接続端子）：22ピン
Hi-speed USB（USB 2.0 準拠）

## 動作温度

5 ℃～ 35 ℃

## 電源

- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（同梱のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）

## 充電時間

パソコンのUSBコネクターからの充電の場合
約2時間（満充電）、約1時間（約80 %まで充電）

## 電池持続時間

設定により電池の持続時間は異なります。持続時間は「本製品の設定と電池持続時間について」（☞ 111ページ）の「お買い上げ時の設定」の各設定にして連続再生をしたときの目安です。

ご注意

- 再生待機状態でもわずかながら電池を消耗しているため、再生待機状態が長時間あった場合には持続時間は短くなります。
- 音量や使用状況、周囲の温度によっても持続時間は異なります。

| ミュージック | ノイズキャンセリング機能オン時 | ノイズキャンセリング機能オフ時 | Bluetooth機能 オン時 |
|---|---|---|---|
| MP3 128 kbps | 約20時間 | 約23時間 | 約8時間 |
| AAC 128 kbps | 約19時間 | 約22時間 | 約8時間 |
| HE-AAC 48 kbps | 約18時間 | 約21時間 | 約8時間 |
| ATRAC 128 kbps | 約17時間 | 約19時間 | 約7時間 |
| ATRAC Advanced Lossless 64 kbps | 約17時間 | 約19時間 | 約7時間 |
| WMA 128 kbps | 約20時間 | 約23時間 | 約8時間 |
| リニアPCM 1,411 kbps | 約20時間 | 約23時間 | 約8時間 |

| ビデオ | ノイズキャンセリング機能オン時 | ノイズキャンセリング機能オフ時 | Bluetooth機能 オン時 |
| --- | --- | --- | --- |
| MPEG-4 384 kbps | 約4.5時間 | 約5時間 | 約3時間 |
| AVC Baseline 384 kbps | 約4.5時間 | 約5時間 | 約3時間 |
| WMV 384 kbps | 約4.5時間 | 約5時間 | 約3時間 |

| FMラジオ | ノイズキャンセリング機能オン時 | ノイズキャンセリング機能オフ時 |
| --- | --- | --- |
| 放送受信時 | 約12時間 | 約13時間 |

| ダイレクト録音 | |
| --- | --- |
| ATRAC 128 kbps | 約5時間 |

## 本製品の設定と電池持続時間について

| 設定 | | お買い上げ時の設定 | 電池持続時間での設定 |
|---|---|---|---|
| ノイズキャンセル | 「ノイズキャンセルオン/オフ」*1 | 「オン」 | 「オフ」 |
| 共通設定 | 「画面オフタイマー」*2 | 「30秒」 | 「30秒」 |
| | 「輝度設定」*3 | 「3」 | 「3」 |
| | 「いたわり充電」*4 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| 音楽設定 | 「イコライザ」*5 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| | 「VPT(サラウンド)」*5 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| | 「DSEE(高音域補完)」*5 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| | 「クリアステレオ」*5 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| | 「ダイナミックノーマライザ」*5 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| | 「カラオケ・語学学習モード」*6 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| | 「DPC(スピードコントロール)」*7 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| | 「テレビ出力(ミュージック)」*8 | 「オフ」 | 「オフ」 |

| 設定 | | お買い上げ時の設定 | 電池持続時間での設定 |
|---|---|---|---|
| ビデオ設定 | 「テレビ出力(ビデオ)」*9 | 「オフ」 | 「オフ」 |
| Bluetooth設定 | 「ワイヤレス再生品質」*10 | 「接続優先」 | 「接続優先」 |

*1 「オン」に設定している場合、「オフ」の場合と比較して、約20%電池持続時間が短くなります。
*2 「オフ」に設定している場合、「30秒」の場合と比較して、約80%電池持続時間が短くなります。
*3 「5」に設定している場合、「3」の場合と比較して、約45%電池持続時間が短くなります。
*4 「オン」に設定している場合、「オフ」の場合と比較して、約10%電池持続時間が短くなります。
*5 「イコライザ」を「オフ」以外、「VPT(サラウンド)」を「オフ」以外、「DSEE(高音域補完)」を「オン」、「クリアステレオ」を「オン」、「ダイナミックノーマライザ」を「オン」に設定している場合、すべて「オフ」の場合と比較して、約50%電池持続時間が短くなります。
*6 「カラオケ(効果強)」または「カラオケ(効果弱)」に設定している場合、「オフ」の場合と比較して、約85%電池持続時間が短くなります。
*7 「×2.0」に設定している場合、「オフ」の場合と比較して、約70%電池持続時間が短くなります。
*8 「オン」に設定し、テレビなどで画面を表示し続けた場合、「オフ」の場合と比較して、約90%電池持続時間が短くなります。
*9 「オン」に設定し、テレビなどで画面を表示し続けた場合、「オフ」の場合と比較して、約55%電池持続時間が短くなります。
*10 「音質優先」に設定している場合、「接続優先」の場合と比較して、約20%電池持続時間が短くなります。

## ディスプレイ

2.8型、TFTカラー液晶、WQVGA（400 × 240ドット）、ドットピッチ0.15 mm、262,144色

## 外形寸法

約51.8 × 約96.9 × 約9.3 mm
（幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）

## 最大外形寸法

約52.5 × 約96.9 × 約9.3 mm
（幅／高さ／奥行き）

## 質量

約77 g

## サンプルデータについて

本製品は、音楽、ビデオ、写真の試聴･体験用サンプルデータをあらかじめインストールしています。
一度削除したサンプルデータは元に戻せません。また、新たにサンプルデータの提供はいたしませんのでご了承ください。

## 本製品の動作環境

下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

- パソコン
  以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。（日本語版標準インストールのみ）
  Windows® XP Home Edition（Service Pack 3以降）/Windows® XP Professional（Service Pack 3以降）/Windows Vista® Home Basic（Service Pack 2以降）/Windows Vista® Home Premium（Service Pack 2以降）/Windows Vista® Business（Service Pack 2以降）/Windows Vista® Ultimate（Service Pack 2以降）/Windows® 7 Starter/Windows® 7 Home Premium/Windows® 7 Professional/Windows® 7 Ultimate
  日本語版標準インストールのみ。マイクロソフト社サポート対象外のOSには非対応。
  Windows VistaとWindows 7の互換モードには非対応。
  Windows XP Professional x64 Edition は非対応。
  x-アプリの「x-Radar」をお使いになるには、Wi-Fiアダプターおよびインターネットへの接続が必要です。
  Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition、Windows NT、Windows 2000、Windows XP SP1以前のバージョンにはインストールできません。
- CPU：Pentium® III 500 MHz相当以上（Windows XP）/ 800 MHz以上（Windows Vista）/ 1 GHz以上（Windows 7）

お使いのパソコン環境によっては、ビデオクリップ／パーソナルビデオがスムーズに再生されない場合があります。

- メモリー：256MB以上（Windows XP）/ 512MB以上(Windows VistaただしHome Basic以外は1 GB以上推奨)/ 1 GB以上（Windows 7 32ビットバージョン）/ 2 GB以上（Windows 7 64ビットバージョン）
- ハードディスクドライブ：800 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量が必要です。
  Windows のバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。また、音楽やビデオ、フォトのデータを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定：
  ー 画面の解像度：1,024 × 600ピクセル以上
  ー 画面の色：High Color（16 ビット）以上
- サウンドボード
  x-アプリで音声を再生するために必要です。
- ビデオカード
  x-アプリでビデオを再生するために必要です。
- USBポート（Hi-Speed USB推奨）
  USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。
- Internet Explorer 6以上がインストールされている必要があります。
  インターネット経由で楽曲やビデオを購入するには、Internet Explorerの設定で、JavaScript、Cookieを有効にしてください。
- Windows Media Player Ver.9以上
  x-アプリでWMAフォーマットの音声ファイルを扱うために必要です。

- Flash Player Ver.9以上
  moraなどFLASHを使われているコンテンツを表示するために必要です。
- インターネット接続環境
  Gracenoteサービスや音楽配信サービス「mora」などのWebサービスを利用する場合やインターネットを活用した「アプリケーション」を利用する場合、またバックアップツールでバックアップデータを復元する場合にインターネットへの接続が必要です。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- 自作パソコン
- NEC PC-9800シリーズとその互換機
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチブート環境
- Macintosh

本製品を自作パソコンに接続し、数秒以内に本製品の画面が点灯しない場合は、本製品をすぐに取りはずしてパソコンのUSB電源配線に間違いがないかご確認ください。そのまま使い続けると、本製品が過熱し故障します。
本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

x-アプリの詳細動作保証環境については下記URLをご確認ください。
http://www.sony.jp/support/pa_common/x-appli/verification/index.html

# ライセンスおよび商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- “x- アプリ”およびそのロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「歌詞ピタ」は、ソニー株式会社の商標です。
- 「着うたフル®」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- mora、モーラおよびちょい聴きmoraの名称、ロゴは、株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
- 12 TONE ANALYSISおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- PlayStationは株式会社ソニー･コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- 「プレイステーション」および「PSP」は株式会社ソニー･コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- ネットジュークはソニー株式会社の商標です。
- LCMIRおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- 本製品はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- 本製品はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Apple、MacintoshおよびiTunesは米国および他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- 「ジャストシステム 読み仮名変換モジュール」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ジャストシステム 読み仮名変換モジュール」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています:
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG 4 VIDEOといいます)にエンコードすること。
  (ii) MPEG-4 VIDEO(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。
  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています:
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
  (ii) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。
  なお、その他の用途に関してはライセンスさ

れていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

- 製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているVC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、VC-1規格に合致したビデオ信号（以下、VC-1 VIDEOといいます）にエンコードすること。
  (ii) VC-1 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。
- Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

Bluetooth®

- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

この製品は“Embedded Memory with Playback and Recording Function System”（以下“EMPR*1”）規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR”を利用しています。

*1 “EMPR”は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名であり、“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR”はDpa（社団法人 デジタル放送推進協会）からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

# 困ったときは

「症状から調べる」(☞ 122ページ)の各項目で調べる。

**充電する。**
充電すると問題が解決することがあります。

**クリップなどの細い棒でRESETボタンを押す。**

本製品を安全にリセットするには、RESETボタンを押す前に、曲やビデオなどが再生されていないことを確認してください。

RESETボタン

## パソコンを利用できる場合

- **詳細操作ガイドで調べる(☞ 155ページ)**
  パソコンを利用した操作について、更に詳しい説明があります。
- **x-アプリのヘルプで調べる**
  x-アプリについての操作方法は、x-アプリのヘルプで調べることができます。
- **「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページで調べる(☞ 157ページ)**
  インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(☞ 最終ページ)またはお買い上げ店に相談する。

# 症状から調べる

## “ウォークマン”の操作

### Q　再生音が出ない

- 音量がゼロになっている。
  - ➔ 音量を上げてください（☞ 23ページ）。
- ヘッドホンがジャックにしっかり差し込まれていない。
  - ➔ 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞ 22ページ）。
- ヘッドホンのプラグが汚れている。
  - ➔ 乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。
- 再生したい曲が選ばれていない。
  - ➔ “ウォークマン”で曲を選んでください。
- ヘッドホンから再生音が出ない。
  - ➔ Bluetooth接続している場合は、ヘッドホンジャックに接続したヘッドホンから音は出ません。
- 上記で解決しない場合は、“ウォークマン”のRESETボタンを押して、リセットしてください（☞ 121ページ）。

## Q　曲やビデオが再生されない、写真が表示されない

- 電池が消耗している。
  - ➔ 充分に充電してください(☞ 17ページ)。
  - ➔ 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して"ウォークマン"をリセットしてください(☞ 121ページ)。
- 「テレビ出力(ビデオ)」が「オン」に設定されている。
  - ➔ 設定を「オフ」に変更してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- ドラッグアンドドロップで転送した曲やビデオ、写真の階層が適切ではない。
  - ➔ 適切なフォルダーと階層にデータを置いてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- "ウォークマン"で再生できないフォーマットのファイルを転送した。
  - ➔ 再生できるファイルは、「再生できるファイルの種類」(☞ 100ページ)をご覧ください。ファイルの仕様によっては再生できないことがあります。
- MP4の音声ファイルをドラッグアンドドロップで「VIDEO」フォルダーに転送した。
  - ➔ ドラッグアンドドロップでMP4の音声ファイルを転送するときは、"ウォークマン"の「MUSIC」フォルダーに転送してください。
- "ウォークマン"の内蔵フラッシュメモリーの初期化(フォーマット)を失敗、またはパソコンで初期化した。
  - ➔ "ウォークマン"で内蔵フラッシュメモリーを、再度初期化(フォーマット)してください(☞ 154ページ)。

## Q　パソコンから転送した曲を"ウォークマン"で削除できない

- パソコンから転送した曲は"ウォークマン"上で削除できません。
  - ➔ ソフトウェアを使って転送したものはソフトウェアを使って削除してください。Windowsのエクスプローラーを使って転送したものはWindowsのエクスプローラーを使って削除してください。

## Q 転送したビデオや写真、ポッドキャストがリストに表示されない

- 対応していないフォーマットで記録されたビデオや写真は"ウォークマン"で認識されず、リストに表示されません(☞ 100ページ)。
- パソコンから"ウォークマン"に転送したビデオのファイル名を変更したり、ファイルの場所を移動したりすると"ウォークマン"で認識されない場合があり、リストに表示されません。
- ドラッグアンドドロップで転送したデータの階層が適切ではない。
  → 適切なフォルダーと階層にデータを置いてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- Windowsのエクスプローラーで、"ウォークマン"の内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)した。
  → "ウォークマン"上で、内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください(☞ 154ページ)。
- 転送中、"ウォークマン"からUSBケーブルがはずれた。
  → 使用可能なファイルをパソコンに戻し、"ウォークマン"上で、"ウォークマン"の内蔵フラッシュメモリーを初期化(フォーマット)してください(☞ 154ページ)。

## Q 「全曲」や「アルバム」を選んだときに表示される曲が、「フォルダー」を選んだときに表示されない

- ドラッグアンドドロップで「MUSIC」フォルダーの下に置いた曲が、"ウォークマン"で「フォルダー」を選んだときに表示される曲です。「RECEIVED」フォルダーの下に置いた曲やx-アプリで転送した曲は「フォルダー」からは選べません。

## Q 1つのアルバムなど限られた範囲でしか再生されない

- 「再生範囲設定」が「選択範囲内を再生」に設定されている。
  → 再生範囲の設定を変更してください(☞ 45ページ)。

## Q 転送したアルバムが、複数になって表示される

- コンピレーションアルバムをx-アプリでパソコンに取り込む場合、複数のアルバムとして取り込まれることがあります。その場合は、x-アプリで1つのアルバムになるように編集してから、"ウォークマン"に転送し直してください。編集について詳しくは、x-アプリのヘルプをご覧ください。

## Q 曲が転送順に表示されない

- 曲は転送順には表示されません。決まった曲順どおりにしたい場合は、x-アプリでプレイリストを作成してから、"ウォークマン"に転送してください。プレイリストについて詳しくは、x-アプリのヘルプをご覧ください。

## Q 雑音が入る

- 静かな場所でノイズキャンセリング機能をオンにしている。
  - ➔ 静かな場所や周囲の騒音の種類によってはノイズが大きくなると感じる場合があります。その際はノイズキャンセリング機能をオフにしてください(☞ 61ページ)。なお、同梱のヘッドホンは、屋外や電車内など騒音の多い場所でノイズキャンセル効果を最大限に生かすために、ヘッドホンの音圧感度を大幅に高めています。そのため、ノイズキャンセリング機能をオフにしても静かな場所ではかすかなホワイトノイズが聞こえる場合があります。
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
  - ➔ 携帯電話などを"ウォークマン"から離して使用してください。
- CDなどから取り込んだ曲が破損している。
  - ➔ "ウォークマン"をパソコンに接続し、x-アプリやWindowsのエクスプローラーで破損した曲を削除したあと、CDなどからもう一度パソコンに取り込んで、"ウォークマン"に転送し直してください。曲を取り込むときは､その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。

- “ウォークマン”で再生できないフォーマットのファイルを転送した。
  - ➔ 再生できるファイルは、「再生できるファイルの種類」(☞ 100ページ)をご覧ください。ファイルの仕様によっては再生できないことがあります。
- ヘッドホンのプラグが汚れている。
  - ➔ 乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。

## Q ノイズキャンセル効果が得られない

- ノイズキャンセリング機能をオフにしている。
  - ➔ 「ノイズキャンセルオン/オフ」を「オン」にしてください(☞ 61ページ)。
- 同梱のヘッドホンを装着していない。
  - ➔ 同梱のヘッドホンを使用してください。
- ヘッドホンを正しく装着していない。
  - ➔ イヤーピースを交換したり、おさまりの良い位置にするなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください(☞ 14ページ)。イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。
- ノイズキャンセル調整が適切に設定されていない可能性がある。
  - ➔ “ウォークマン”は、ノイズキャンセル効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、同梱のヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる(または下げる)ことでさらに効果が得られる場合があります。ノイズキャンセルの調整をし直してください(☞ 65ページ)。
- 静かな場所で使用している。
  - ➔ 静かな場所や、周囲の騒音の種類によっては、ノイズキャンセル効果が感じられないことがあります。
- 「環境選択」で設定しているデジタルフィルターの種類が周囲の環境と合っていない。
  - ➔ 周囲の環境に合わせて「環境選択」の設定を選んでください(☞ 64ページ)。

## Q ノイズキャンセリング機能をオンにしてバスや電車で音楽などを聞いていると、音が途切れる(音飛びする)

- バスや電車内でノイズキャンセリング機能をオンにして曲などを聞いていると、着座位置によっては、走行ノイズ以外の大きな振動(例えば、車が段差を乗り越えたときの振動など)がヘッドホンユニットに内蔵されているマイクに伝わり、音が途切れたように聞こえる場合がある。
  - ➔ この現象は、「ノイズキャンセル調整」の値を小さくすることで改善されます。「ノイズキャンセル調整」の値を小さくしてご使用ください(☞ 65ページ)。

## Q 「VPT(サラウンド)」設定の効果が感じられない

- 「VPT(サラウンド)」設定は、同梱のヘッドホンを利用している場合のみ有効です。

## Q 「クリアステレオ」機能の効果が感じられない

- 「クリアステレオ」機能は、同梱のヘッドホンを利用している場合のみ有効です。
- 「クリアステレオ」機能は、Bluetooth接続中は作動しません。

## Q “ウォークマン”が動作しない(ボタンとタッチパネル操作に反応しない)

- HOLDスイッチがHOLD(ホールド)の位置になっている。
  - ➔ 右側面にあるHOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください(☞ 24ページ)。
- 結露している。
  - ➔ そのまま約2、3時間おいてください。

- 電池の残量が少ない、または消耗している。
  - ➔ “ウォークマン”を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください(☞ 17ページ)。
  - ➔ 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押して“ウォークマン”をリセットしてください(☞ 121ページ)。
- “ウォークマン”はUSB接続中は操作できない。
  - ➔ パソコンとの接続をはずして操作してください。

## Q タッチパネルが正常に動作しない

- 液晶保護シート、プライバシーフィルターが正常に貼り付けられていない。
  - ➔ 液晶画面の縁に乗っていたり、潜り込んでいたりするときは貼り直してください。ソニーの液晶保護シート(別売り)以外を使用した場合、製品によってはタッチパネルの動作を妨げる場合があります。
- HOLDスイッチがHOLDになっていないか確認してください(☞ 24ページ)。

## Q ボタン操作はできるがタッチパネルでの操作ができない

- HOLD(ホールド)設定で「タッチパネルのみ無効」に設定している。
  - ➔ HOLDスイッチを逆の方向にスライドしてください(☞ 24ページ)。

## Q HOLDスイッチをオンにしているのに、ボタン操作が反応してしまう。

- HOLD(ホールド)設定で「タッチパネルのみ無効」に設定している。
  - ➔ 「全操作無効」に設定してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q 再生を停止できない

- “ウォークマン”では、再生の停止は一時停止になります。画面上の❚❚を選ぶと、画面左上に❚❚が表示され、

再生を一時停止します。

## Q 再生音が大きくならない

- 「AVLS（音量制限）」が「オン」に設定されている。
  - ➔ AVLS設定を解除してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- Bluetooth接続で音声を聞いている。
  - ➔ Bluetoothオーディオ機器の音量を上げてください。

## Q 右チャンネルから音が出ない、または右チャンネルの音が左右両方のヘッドホンから聞こえる

- ヘッドホンがジャックにしっかり差し込まれていない。
  - ➔ 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください（☞ 22ページ）。

## Q 再生していたら急に音が止まった

- 電池の残量が少ない、または消耗している。
  - ➔ "ウォークマン"を起動中のパソコンに接続するなどして、充分に充電してください（☞ 17ページ）。
- "ウォークマン"で再生できない曲、またはビデオを再生しようとしている。
  - ➔ 別の曲やビデオを選び、再生してください。
- Bluetoothオーディオ機器との接続状態に問題が起きたため、再生が止まった。
  - ➔ Bluetoothオーディオ機器との接続状態を確認してください。

## Q コンサートやライブなどのアルバム再生で、曲間で音が途切れる

- 曲がATRAC形式でない。
  - → ATRAC*形式で曲をx-アプリに取り込んで"ウォークマン"に転送すれば、曲間を空けずに再生(ギャップレス再生)できます。
    * ATRAC Advanced Losslessは除きます。
- 「DPC(スピードコントロール)」が「オフ」以外になっている。
  - → 「DPC(スピードコントロール)」を「オフ」にしてください(☞ 43ページ)。
- 「カラオケ・語学学習モード」が「カラオケ(効果強)」または「カラオケ(効果弱)」になっている。
  - → 「カラオケ・語学学習モード」を「オフ」または「語学学習」にしてください(☞ 41ページ)。

## Q　歌詞が表示されない

- 曲に歌詞情報が付いていない。
  - → x-アプリで歌詞ピタ(データ)を付けてください。Windowsのエクスプローラーで転送された曲には歌詞情報は表示されません。
  - → 静止画による歌詞情報は表示できません。
  - → 購入した歌詞ピタ(データ)が"ウォークマン"で表示されない場合は、歌詞が表示されなかった楽曲を"ウォークマン"から削除して転送し直してください。
- Bluetoothで受信した曲は歌詞が表示されない。
  - → 歌詞を受信してもシステム制約により、「受信した曲」から選んだ曲の歌詞を"ウォークマン"では表示できません。

## Q　「この歌詞を表示するには 歌詞を追加購入して 転送し直してください。」というメッセージが出る

- 1つの歌詞ピタ(データ)は、1台の歌詞対応"ウォークマン"のみに転送できる。

➔ 複数台の歌詞対応“ウォークマン”に転送する場合は、複数の同一歌詞ピタ(データ)を購入してから、転送し直してください。

## Q サムネイル(ジャケット写真など)が表示されない

- 曲に適切な形式のジャケット写真情報が登録されていない。
  - ➔ x-アプリでジャケット写真の登録をしてください。Windowsのエクスプローラーで転送された曲はジャケット写真が表示されない場合があります。
- ビデオの場合、ビデオファイルと同じ名前のサムネイル画像が必要になる。
  - ➔ “ウォークマン”の「VIDEO」フォルダー内にビデオファイルと同じ名前のJPEGファイルがある必要があります。
- 写真の場合、Exifに準拠したサムネイル情報が含まれていないと、サムネイルは表示されません。
- すでに転送済みの曲に対して、後からジャケット写真を付けて再度転送した。
  - ➔ “ウォークマン”から一度削除して、転送し直してください。
- 「受信したビデオ」から選んだビデオ、「RECEIVED」フォルダー内のビデオのサムネイルを“ウォークマン”では表示できません。

## Q 知らないうちに電源が切れて電源が入った

- 正常に動作しなくなったときに、“ウォークマン”では自動的に電源を入れ直します。

## Q “ウォークマン”の動作がおかしい

- “ウォークマン”を接続したままの状態で、接続先のUSB機器(パソコンなど)の電源を入れた/切った。
  - ➔ RESETボタンを押して“ウォークマン”をリセットしてください(☞ 121ページ)。USB機器の電源を入れる/切る場合は、USB機器から“ウォークマン”を取りはずしてから行ってください。

## Q 画面に「□」と表示される

- “ウォークマン”で表示できない文字が使用されている。
  - ➔ x-アプリを使って転送した曲は、x-アプリを使って“ウォークマン”で表示可能な別の文字に置き換えてください。

## Q アルバム名やアーティスト名などに「不明」と表示される

- 曲にアルバム名やアーティスト名情報が付いていません。

## Q 写真を表示中に、表示が消える

- 「画面オフタイマー」で設定した時間内に操作しなかった。
  - ➔ いずれかのボタンを押してください。「画面オフタイマー」については詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q 表示が消える

- 「画面オフタイマー」で設定した時間内に操作しなかった。
  - ➔ いずれかのボタンを押してください。「画面オフタイマー」については詳細操作ガイドをご覧ください。
- ビデオ設定の「画面オフ設定」を「ホールド時画面オフ」に設定している。
  - ➔ 「画面オフ設定」を「常時画面オン」に設定してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q 音楽再生画面の情報表示エリアの⇨(テレビ出力中)アイコンが点滅している

- 映像/音声出力ケーブルが接続されていない。
  - ➔ 接続を確認してください。

## Q　電池の持続時間が短い

- 5 ℃以下の環境で使用している。
  - → 電池の特性によるもので故障ではありません。
- 充電時間が足りない。
  - → Full が表示されるまで充電してください。
- Bluetooth機能を使っている。
  - → Bluetooth機能は無線によるデータ送信技術のため、電池の消耗が多くなります。曲を聞かないときはこまめにBluetooth接続を切断したり、Bluetoothヘッドホンを使わず、同梱のヘッドホンを使用することで、電池持続時間を長くすることができます。
- “ウォークマン”の設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます（☞ 109ページ）。
- “ウォークマン”を1年以上使用していなかった。
  - → お使いの環境にもよりますが、電池の劣化の可能性があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください（☞ 最終ページ）。
- 「いたわり充電」を「オン」にしている。
  - → 「いたわり充電」を「オン」にしていると、充電量が約90%になるため、電池残量表示のはじめの1目盛りが早く消えます。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- 電池を充分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときは電池が劣化している。
  - → ソニーの相談窓口にお問い合わせください（☞ 最終ページ）。

## Q　充電できない

- USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクターに接続されていない。
  - ➔ USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。
  - ➔ 同梱のUSBケーブルを使用してください。
- 5 ℃～ 35 ℃の範囲外の環境で充電している。 が表示されている間は充電できない。
  - ➔ 5 ℃～ 35 ℃の環境で充電してください。
- パソコンの電源が入っていない。
  - ➔ パソコンの電源を入れてください。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）、休止状態に入っている。
  - ➔ パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。
- "ウォークマン"に対応していないACアダプターを使用している。
  - ➔ "ウォークマン"に対応する別売りのACアダプター（AC-NWUM60など）を使ってください。
- USBハブを使用している。
  - ➔ USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。
- 非対応のOSのパソコンに接続している。
  - ➔ 対応しているOSのパソコンで充電してください。
- "ウォークマン"を1年以上使用していなかった。
  - ➔ お使いの環境にもよりますが、電池の劣化の可能性があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください（☞ 最終ページ）。
- 上記に当てはまらない場合は、"ウォークマン"のRESETボタンを押してからUSB接続をし直してください（☞ 121ページ）。

## Q “ウォークマン”の電源が自動的に切れた

- “ウォークマン”は電池の消耗を防ぐために自動的に再生待機状態（画面表示を消す）になります。
  - ➔ いずれかのボタンを押すと電源が入ります。

## Q 充電がすぐに終わる

- 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。

# パソコンとの接続

## Q インストールできない

- 対応OS以外のOSを使っている。
  - ➔ パソコンの動作環境を確認してください（☞ 114ページ）。
- すべてのWindowsのソフトウェアを終了していない。
  - ➔ ほかのソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウイルス対策ソフトウェアは負担が大きいため、ネットワークから切断してから必ず終了してください。
- ハードディスクの空き容量が足りない。
  - ➔ インストールするアプリケーションの必要なハードディスク空き容量を確認し、不要なファイルなどを削除してください。
- Administrator権限またはコンピューターの管理者以外でログオンしている。
  - ➔ Administrator権限またはコンピューターの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator権限またはコンピューターの管理者でログオンしてください。また、ユーザー名に全角文字をご使用の場合は、半角英数字のユーザー名で新規のアカウントを作成してく

ださい。

- メッセージダイアログがインストール画面の後ろに隠れていて、インストール作業が止まっているように見える場合がある。
  - ➔ [Alt]キーを押しながら[Tab]キーを数回押してください。ダイアログが表示されたら、メッセージに従って操作してください。
- 日本語以外のOSを使っている。
  - ➔ 日本語OS以外にはインストールできません。

## Q インストール時に画面上のバーが動いていない。または、ハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない

- インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコンによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。

## Q x-アプリが起動しない

- WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページ(☞ 157ページ)で調べてください。

## Q USBケーブルでパソコンにつないでも、“ウォークマン”の画面に「USB接続中 本体の操作はできません。」と表示されない(“ウォークマン”がパソコンに認識されない)

- USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクターに接続されていない。
  - ➔ USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。
  - ➔ 同梱のUSBケーブルを使用してください。

- インストールされているアプリケーションが、x-アプリVersion 2.0未満の可能性がある。
  - ➔ x-アプリVersion 2.0以上をインストールしてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- USBハブを使用している。
  - ➔ USBハブを使用していると、表示されない場合があります。パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。
- 接続しているUSBコネクターに不具合の可能性があります。パソコンの別のUSBコネクターに接続してください。
- はじめてお使いのとき、もしくは電池残量が不足しているときにパソコンへ接続すると、画面表示までに約30秒程度時間がかかる場合があります。故障ではありません。
- ソフトウェアの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
- ソフトウェアのインストールに失敗している。
  - ➔ インストーラーを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください。取り込んだデータは引き継がれます。
- 接続機器にUSBケーブルで"ウォークマン"をつなぐ前に、"ウォークマン"をUSB接続待機状態に設定することにより、より確実にUSB接続することができます。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- 上記に当てはまらない場合は、"ウォークマン"のRESETボタンを押してからUSB接続をし直してください(☞ 121ページ)。

## Q 転送できない

- USBケーブルがきちんとパソコンのUSBコネクターに接続されていない。
  - ➔ USBケーブルをいったんはずして、接続し直してください。
- インストールされているアプリケーションが、x-アプリVersion 2.0未満の可能性がある。
  - ➔ x-アプリVersion 2.0以上をインストールしてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

- “ウォークマン”の空き容量が不足している。
  - ➔ 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
  - ➔ 「録音できる最大曲数、最大フォルダー数、1つのフォルダーに録音できる最大曲数」(☞ 106ページ)をご覧ください。
- “ウォークマン”に転送できる最大プレイリスト数を超えている。
  - ➔ 転送できる最大プレイリスト数は「転送できる最大プレイリスト数、各プレイリストに登録できる最大曲数」(☞ 106ページ)をご覧ください。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。
- 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により“ウォークマン”に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
- “ウォークマン”に異常のあるデータが入っている。
  - ➔ 必要なデータをパソコンに戻し、“ウォークマン”を初期化(フォーマット)してください(☞ 154ページ)。
- 対応のソフトウェアを使っていない。
  - ➔ 対応のソフトウェアをインストールし、データを転送してください。
- データが破損している。
  - ➔ 転送できないデータをパソコンから削除し、もう一度そのデータを取り込み直してください。パソコンにデータを取り込むときや転送中は、その他の作業を中止してください。データが破損する原因となることがあります。
- “ウォークマン”で再生できないフォーマットのファイルを転送しようとしている。
  - ➔ 転送できるファイルは、「再生できるファイルの種類」(☞ 100ページ)をご覧ください。ファイルの仕様によっては転送できないことがあります。
- “ウォークマン”に転送できる最大ファイル数を超えている。転送できる曲数は「記録できる最大曲数と時間の目安」(☞ 103ページ)をご覧ください。

➔ 不要な曲を削除してください。

## Q 転送に時間がかかる

- ファイルサイズの大きなデータを"ウォークマン"に転送した。
  ➔ ファイルサイズが大きいと転送に時間がかかることがあります。

## Q 転送できるデータが少ない(録音できる時間が少ない)

- "ウォークマン"の空き容量が不足している。
  ➔ 不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
- "ウォークマン"で再生するデータ以外のデータが入っている。
  ➔ "ウォークマン"で再生するデータ以外のデータが入っていると、転送できる曲やビデオ、写真、録音できる時間が減ります。"ウォークマン"で再生するデータ以外のデータをパソコンに移動するなどして、"ウォークマン"の空き容量を増やしてください。

## Q パソコンに曲を戻せない

- 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。
  ➔ x-アプリで転送した曲は転送したパソコンと異なるパソコンには曲を戻せません。はじめに曲を転送したパソコンへ戻してください。パソコンに曲を戻せず"ウォークマン"の曲を削除する場合は、x-アプリで曲を選んで 削除してください。
- 転送元のパソコンで曲を削除した。
  ➔ 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。

## Q パソコン接続中の動作が安定しない

- USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用している。

→ USBハブまたはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しないことがあります。パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。

## おまかせチャンネル

### Q　希望のチャンネルが見つからない

- チャンネルにあてはまる曲が1曲もないときは、そのチャンネルは表示されません。

### Q　「朝のおすすめ」が常に表示される

- 時刻が設定されていないときは、時間帯別のおすすめチャンネルに「朝のおすすめ」が常に表示される。
  → 時刻を設定してください（☞ 20ページ）。

### Q　時間帯別のおすすめチャンネルに合わない曲が再生される

- 時間帯別のおすすめチャンネルに振り分けられた曲が1曲もないときは、全曲を順不同に再生します。

### Q　録音した曲がおまかせチャンネルで再生されない

- 録音した曲は解析されないため、おまかせチャンネルで再生できません。

## FMラジオ

### Q　FMラジオ放送がよく聞こえない

- 受信している周波数が適切でない。

➔ ∧または∨をタップするか、周波数の数字をドラッグまたはフリックして、放送がもっともよく聞こえる周波数を選局してください（☞ 56ページ）。

## Q 雑音が多く、音が悪い

- 電波が弱い。
  ➔ 建物や乗り物内では電波が弱い場合があります。窓際に近づくなどして電波の入りやすい場所を選んでください。
- ヘッドホンのコードが伸びていない。
  ➔ ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
- 「モノラル/オート」が「オート」に設定してある場合は、受信感度は受信時の状態によって自動設定される。
  ➔ 受信感度が悪い場合は、「モノラル/オート」を「モノラル」に設定してください（☞ 60ページ）。

## Q 雑音が入る

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
  ➔ 携帯電話などを"ウォークマン"から離して使用してください。

## Q FMラジオ放送が聞けない

- ヘッドホンジャックにヘッドホンが接続されていない。
  ➔ ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。WM-PORTジャックに別売りのアクセサリーなどを接続していて、ヘッドホンが接続できないときは、FMラジオ放送を聞くことはできません。
- Bluetooth接続中は、FMラジオを聞けない。
  ➔ Bluetooth接続を終了し、同梱のヘッドホンを使用してください。

## Q　録音した曲の音量が小さい

- 録音元のオーディオ機器の出力レベルが低すぎた。
  - ➔ 録音元の音量を上げてください。
  - ➔ アクセサリーによっては、録音入力レベルの切り換えができるものがあります。詳しくは、"ウォークマン"での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧になって調整してください。

## Q　録音中にノイズが出る

- "ウォークマン"での録音に対応した別売りのアクセサリーに録音レベル切り換えスイッチがある場合、録音レベル切り換えスイッチが合っていない。
  - ➔ 接続しているオーディオ機器に合った位置にしてください。詳しくは、"ウォークマン"での録音に対応した別売りのアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

## Q　曲のはじめの数秒が録音されない

- 「シンクロ録音」で録音をしている場合、ゆっくりフェードインする曲など録音する曲によっては無音検出が働き、正確に曲のはじめを検出できない場合がある。
  - ➔ マニュアル録音にして録音してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q　曲を消しても録音できる残り時間が増えない

- システム上の制約で、短い曲を何曲か消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

## Q　録音できない

- “ウォークマン”での録音に対応した別売りのアクセサリーを接続していない。
  - → “ウォークマン”での録音に対応した別売りのアクセサリーを接続してください(☞ 31ページ)。
- “ウォークマン”の空き容量が不足している。
  - → 不要な曲を削除してください(☞ 34ページ)。
  - → 録音した曲をパソコンに取り込んでください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- “ウォークマン”に録音できる最大曲数、最大フォルダー数を超えている。
  - → 不要な曲を削除してください(☞ 34ページ)。
  - → 録音した曲をパソコンに取り込んでください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- 1つのフォルダーに録音できる最大曲数を超えている。録音できる最大曲数は「録音できる最大曲数、最大フォルダー数、1つのフォルダーに録音できる最大曲数」(☞ 106ページ)をご覧ください。
  - → 録音するフォルダーを変更してください。
- 録音元のオーディオ機器と正しく接続されていない。
  - → “ウォークマン”での録音に対応した別売りのアクセサリーを使って正しく接続してください。
- パソコンと接続している。
  - → パソコンの接続をはずしてください。
- 録音中に“ウォークマン”の電池残量が少なくなり、電源が切れた。
  - → 充分に充電してから録音してください。
- Bluetooth接続中は、曲を録音できない。
  - → Bluetooth接続を終了してください。

## Q　録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない

- システム上の制約により、録音開始時に残りの録音可能時間が数秒程度減ることがあります。

## ポッドキャスト

### Q　エピソードを再生できない

- エピソードのファイルフォーマットに対応していない。
  - ➔ “ウォークマン”で再生できるファイルフォーマットを確認してください（☞ 100ページ）。

## テレビ出力

### Q　音楽やビデオがテレビに出力できない

- 海外旅行や出張時に海外のテレビをお使いの場合は、テレビに合わせて、NTSCかPALに切り換えてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- “ウォークマン”の「テレビ出力」が「オン」になっていない。
  - ➔ “ウォークマン”の「テレビ出力（ミュージック）」または「テレビ出力（ビデオ）」を「オン」にしてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- 別売りの映像／音声出力ケーブル（WMC-NWV10）を使用していない。
  - ➔ 別売りの映像／音声出力ケーブル（WMC-NWV10）を使用してテレビに接続してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- お使いのテレビの入力設定が映像／音声出力ケーブルを接続した入力端子からの設定になっていない。
  - ➔ テレビの入力切替を確認してください。

## Q　テレビ出力したビデオの画像が正しくない（余分な黒帯が表示されたり、画面が歪んだりする）

- "ウォークマン"のビデオのズーム設定が合っていない。
  → ビデオのズーム設定を切り換えてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- "ウォークマン"の「テレビ出力サイズ」の設定が、お使いのテレビの画面に合っていない。
  → 「テレビ出力サイズ」の設定を切り換えてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- お使いのテレビの表示設定が合っていない。
  → お使いのテレビの表示設定を切り換えてください。

# Bluetooth機能

## Q　Bluetoothオーディオ機器を登録できない（ペアリングできない）

- "ウォークマン"とBluetoothオーディオ機器の距離が離れている。
  → Bluetooth接続ができる距離で登録（ペアリング）を行ってください（☞ 69ページ）。
- 登録（ペアリング）するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが"ウォークマン"と異なる。
  → プロファイルが異なる機器との登録（ペアリング）はできません。

## Q　Bluetooth接続ができない

- 接続するBluetoothオーディオ機器の電源が入っていない。
  → 接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。

- Bluetoothオーディオ機器の登録(ペアリング)が失敗したか、完了していない。
  - ➔ 登録(ペアリング)をしていないBluetoothオーディオ機器とは接続できません。Bluetoothオーディオ機器を登録(ペアリング)をしてください(☞ 69ページ)。
- "ウォークマン"または接続するBluetoothオーディオ機器がスリープ状態になっている。
  - ➔ "ウォークマン"または接続するBluetoothオーディオ機器のスリープ状態を解除してください。
- 電池残量が少なくなっている、または電池残量がほとんどない。
  - ➔ "ウォークマン"を、起動中のパソコンかACアダプター(別売)で充電してください(☞ 17ページ)。
- "ウォークマン"または接続するBluetoothオーディオ機器で、設定の初期化やメモリーの初期化などが行われたことにより、登録(ペアリング)情報が削除された。
  - ➔ "ウォークマン"と接続するBluetoothオーディオ機器で登録(ペアリング)し直してください(☞ 69ページ)。
- Bluetoothオーディオ機器のプロファイルがA2DPに対応していない。
  - ➔ Bluetoothオーディオ機器のプロファイルがA2DPに対応しているか確認してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

## Q 接続したBluetoothオーディオ機器から音が聞こえない

- 接続したBluetoothオーディオ機器が消音(ミューティング)に設定されている。
  - ➔ 接続したBluetoothオーディオ機器の消音(ミューティング)を解除してください。
- 音量がゼロになっている。
  - ➔ 接続したBluetoothオーディオ機器の種類によっては音量を調節できない場合があります。"ウォークマン"または接続したBluetoothオーディオ機器を使って音量を上げてください。
- 再生が始まっていない。
  - ➔ "ウォークマン"で再生を始めてください(☞ 71ページ)。

- 接続したBluetoothオーディオ機器の電源が入っていない。
  - ➔ 接続したBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- Bluetooth接続が切断されている。
  - ➔ Bluetooth接続を行ってください(☞ 71ページ)。
- 再生したい曲が選ばれていない。
  - ➔ 接続しているBluetoothオーディオ機器のプロファイルがAVRCPに対応していない可能性があります。“ウォークマン”本体で操作してください。

## Q 音量が変わらない

- HOLDスイッチがHOLD(ホールド)の位置になっている。
  - ➔ HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください(☞ 24ページ)。
- 接続したBluetoothオーディオ機器の種類によっては音量を調節できない場合がある。
  - ➔ Bluetoothオーディオ機器または“ウォークマン”で直接音量を調節してください。

## Q 音声がひずむまたは途切れる

- 2.4 GHz帯の周波数を使用する無線、無線LAN、他のBluetoothオーディオ機器または電子レンジなど、電磁波を発生する機器が“ウォークマン”や接続したBluetoothオーディオ機器の近くにある。
  - ➔ “ウォークマン”および接続したBluetoothオーディオ機器を、上記の機器から離れた場所で使用してください。
- “ウォークマン”および接続したBluetoothオーディオ機器の間に障害物(金属、人体、壁など)がある。
  - ➔ “ウォークマン”および接続したBluetoothオーディオ機器の間から障害物を避ける、または取り除いてください。

- 「サウンドエフェクト」設定で音響効果を有効にしていても、Bluetooth接続中は「クリアステレオ」は有効になりません。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q 音声が途切れやすい

- 2.4 GHz帯の周波数を使用する無線、無線LAN、他のBluetoothオーディオ機器または電子レンジなど、電磁波を発生する機器が"ウォークマン"や接続したBluetoothオーディオ機器の近くにある。
  - → "ウォークマン"および接続したBluetoothオーディオ機器を、上記の機器から離れた場所で使用してください。
- "ウォークマン"および接続したBluetoothオーディオ機器の間に障害物(金属、人体、壁など)がある。
  - → "ウォークマン"および接続したBluetoothオーディオ機器の間から障害物を避ける、または取り除いてください。
- 送信ビットレートがご使用の環境に合っていない。
  - → 接続したBluetoothオーディオ機器に送信しているビットレート設定と、ご使用の環境との組み合わせによって、接続状態が不安定になる場合があります。このようなときは、「ワイヤレス再生品質」の設定を調節してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q 音楽再生中に音が飛ぶ

- ご使用の環境と設定によっては、音が飛ぶことがあります。以下を行うことで、音飛びが少なく場合があります。
  - → "ウォークマン"とBluetoothオーディオ機器を近づけてください。
  - → 「ワイヤレス再生品質」を「接続優先」に設定してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
  - → 「DPC(スピードコントロール)」を「オフ」に設定してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
  - → 「カラオケ・語学学習モード」を「オフ」に設定してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q 雑音が入る

- Bluetooth接続が途切れている。
  - ➔ Bluetooth接続をいったん切断して、接続し直してください。
- 使用環境によっては雑音が入ることがある。
  - ➔ 場所を移動してからBluetooth接続をいったん切断して、接続し直してください。
- 接続状況によっては、片方のチャンネルだけにノイズが出ることがある。
  - ➔ Bluetooth接続をいったん切断して、接続し直してください。

## Q ビデオの音声が遅れる

- 接続したBluetoothオーディオ機器によっては、音が遅れることがあります。

## Q 受信したファイルが表示されない

- 受信したファイルが"ウォークマン"に対応していません。

## Q ファイルを削除できない

- 受信した曲でない。
  - ➔ ソフトウェアを使って転送したものはソフトウェアを使って削除してください。Windowsのエクスプローラーを使って転送したものはWindowsのエクスプローラーを使って削除してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- 受信したファイルが"ウォークマン"に対応してない。
  - ➔ "ウォークマン"に対応していない受信ファイルは、画面には表示されません。対応していない受信ファイルを削除するにはWindowsのエクスプローラーを使って削除するか、受信ファイルをすべて削除してください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。

## Q　受信した曲のジャケット写真が表示されない

- 曲にアルバムのジャケット写真を登録したソフトウェアによっては、曲をBluetoothで送信した場合に、ジャケット写真は送られない場合があります。

## Q　パスキーを入力する画面が表示された

- Bluetoothオーディオ機器によっては、接続時にパスキー入力が必要となることがある。
  - ➔ “ウォークマン”とBluetoothオーディオ機器の両方で、同じパスキーを入力してください。また、Bluetoothオーディオ機器のパスキーの入力方法については、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

# その他

## Q　操作時の確認音が鳴らない

- 「操作確認音」の設定が「オフ」になっている。
  - ➔ 「操作確認音」の設定を「オン」にしてください。詳しくは、詳細操作ガイドをご覧ください。
- “ウォークマン”が次の動作中の場合、ビープ音は鳴りません。
  - ➔ クレードル（別売）などに接続中
  - ➔ Bluetooth接続中

## Q　“ウォークマン”が温かくなる

- 充電中または充電直後に“ウォークマン”が一時的に温かくなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温かくなることがあります。しばらく放置してください。

## Q　日付と時刻がリセットされる

- 電池を使いきった状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされる場合がありますが、故障ではありません。Full が表示されるまで充電し(☞ 17ページ)、日付と時刻を設定し直してください(☞ 20ページ)。

## Q　ヘッドホンを抜き差しするとノイズが聞こえる

- ヘッドホンの抜き差しはヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能が働いたままでヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。

## Q　音楽ポッドキャストまたは録音した曲をブックマークに登録できない

- ブックマークに登録できる曲は転送した曲のみになります。音楽ポッドキャストまたは録音した曲をブックマークに登録できません。

## Q　アラームが作動しない

- 「アラームのオン/オフ」が「オフ」になっている。
  - → 「アラームのオン/オフ」を「オン」にしてください(☞ 81ページ)。
- "ウォークマン"が次の動作中の場合、アラームは作動しません。
  - → Bluetooth接続処理中(情報表示エリアにアラームアイコンは点滅します)
  - → 曲を録音中(情報表示エリアにアラームアイコンは点滅します)
  - → パソコンに接続中

## Q　アラームが遅れる

- “ウォークマン”が次の動作中の場合、アラームは動作後に始まります。
  - ➔ データ削除中
  - ➔ メモリー初期化中

## Q　スリープ機能が作動しない

- “ウォークマン”が次の動作中の場合、スリープ機能は作動しません。
Bluetooth接続処理中／曲を録音中／パソコンに接続中／ FMラジオの「オートプリセット」機能を使用中／おまかせチャンネルで曲を解析中／アラーム作動中／データ削除中
- “ウォークマン”を再生待機状態またはパソコンに接続するとき、スリープ機能はキャンセル（設定「オフ」）されます。

## Q　スリープ機能が遅れる

- データ削除中またはメモリー初期化中、スリープ機能はデータ削除後またはメモリー初期化後に始まります。

## Q　アラーム曲のかわりにアラーム音が流れる

- アラームに選択したアラーム曲が削除された。
他の曲をアラーム曲に選び、「アラーム音設定」で「アラーム曲」に設定してください（☞ 82ページ）。

## Q　再生速度が調節できない

- カラオケ機能使用中は再生速度を調整できない。
  - ➔ 「カラオケ･語学学習モード」を「オフ」または「語学学習」に設定してください（☞ 41ページ）。

## Q　再生曲のボーカルを抑えることができない

- 「カラオケ･語学学習モード」で「カラオケ（効果強）」または「カラオケ（効果弱）」を選んでも、曲自体のエフェクト（音響効果）によって、ボーカル抑制の効果は異なります。そのため、ボーカルがほとんど抑制されなかったり、逆効果になる曲もあります。

## “ウォークマン”のメモリーを初期化(フォーマット)するには

下記の手順に従って必ず“ウォークマン”上で行ってください。初期化すると記録されたデータ(お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータを含む(☞ 113ページ))はすべて消去されますので、初期化する前に内容を確認してください。
“ウォークマン”本体メモリー内のソフトウェアやインストーラーも消去されますので、必要に応じてバックアップしてください。ソフトウェアのインストール時にパソコンに保存されます(☞ 16ページ)。

**1 ホームメニュー→ (各種設定)→「共通設定」→「各種初期化」→「メモリー初期化」→「はい」→「はい」の順に選ぶ。**

「はい」を選ぶと初期化が始まります。初期化が終了すると「メモリーの初期化が完了しました。」と表示されます。

# 詳細操作ガイドで調べる

詳細操作ガイドは、WALKMAN Guideをパソコンにインストールすると利用することができます。

**1 パソコンのデスクトップの (WALKMAN Guide)アイコンをダブルクリックする。**

**2 詳細操作ガイドをダブルクリックする。**

**ヒント**

- WALKMAN Guideのインストール方法について、詳しくは別紙「準備編～パソコン側の準備」をご覧ください。

# ケータイかんたんガイドで調べる

「ケータイかんたんガイド」を使うと、外出先でも携帯電話で"ウォークマン"の操作方法を確認できます。

**1** **2次元コードに対応したカメラ付き携帯電話で表紙にある2次元コードを読み取る。**

「ケータイかんたんガイド」のURLが表示されます。

http://www.sony.net/helpguide/r/walkman/nwa860/

**2** **表示されたURL情報を選択する。**

「ケータイかんたんガイド」が表示されます。

**ご注意**

- 「ケータイかんたんガイド」の使用は無料ですが、パケット通信料が別途かかります。
- 本サービスは、予告なく変更・一時停止・終了することがありますがご了承ください。

# サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページ(http://www.sony.co.jp/walkman-support/)でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

### サポートホームページを見るには

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Q&A(よくある問い合わせ情報)
- x-アプリのソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- x-アプリや「詳細操作ガイド」のダウンロードサービス

**1** **デスクトップの (WALKMAN Guide)アイコンをダブルクリックする。**

**2** **インターネットで最新情報を調べる(カスタマーサポートへのリンク)を選ぶ。**

**ヒント**

- WALKMAN Guideのインストール方法について、詳しくは別紙「準備編～パソコン側の準備」をご覧ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」（☞ 121ページ）をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
なお当社の判断により有料にて交換対応させていただく場合がございます。

### 部品の保有期間について

当社では、デジタルメディアプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

# 索引

## 【ア】



## 【カ】



## 【サ】

## 【タ】



## 【ナ】



## 【ハ】



## 【マ】



## 【ラ】

## 【A】



## 【B】



## 【D】



## 【F】



## 【H】



## 【R】



## 【V】



## 【W】

# お問い合わせの前に

以下の方法ですぐに症状が解決されることがありますので、以下のチェックリストをお試しください。

□ “ウォークマン”のRESETボタンを押しても、症状が改善しませんでしたか？

□ “ウォークマン”を充電して、症状が改善しませんでしたか？

□ 「困ったときは」（☞ 121ページ）はご覧になりましたか？

□ 同梱の「準備編～パソコン側の準備」はご覧になりましたか？

□ パソコンでインターネットをお使いのお客様は、“ウォークマン”のサポートホームページをご覧になりましたか？

# お問い合わせ窓口のご案内

- **メールでのお問い合わせは ➡ ウォークマン カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)
- **電話・FAXでのお問い合わせは ➡ ソニーの相談窓口へ(下記の電話・FAX番号)**

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名:"ウォークマン"裏面に記載
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- 購入年月日
- お使いのパソコンの情報(パソコンメーカー名、パソコン型名、OSバージョン)
- その他接続にお使いの機器の情報(機器メーカー名、型名)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

| | | |
|---|---|---|
| **使い方相談窓口** | フリーダイヤル | **0120-333-020** |
| | 携帯電話・PHS・一部のIP電話 | **0466-31-2511** |
| **修理相談窓口** | フリーダイヤル | **0120-222-330** |
| | 携帯電話・PHS・一部のIP電話 | **0466-31-2531** |

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「301」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

**FAX(共通)0120-333-389**

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1